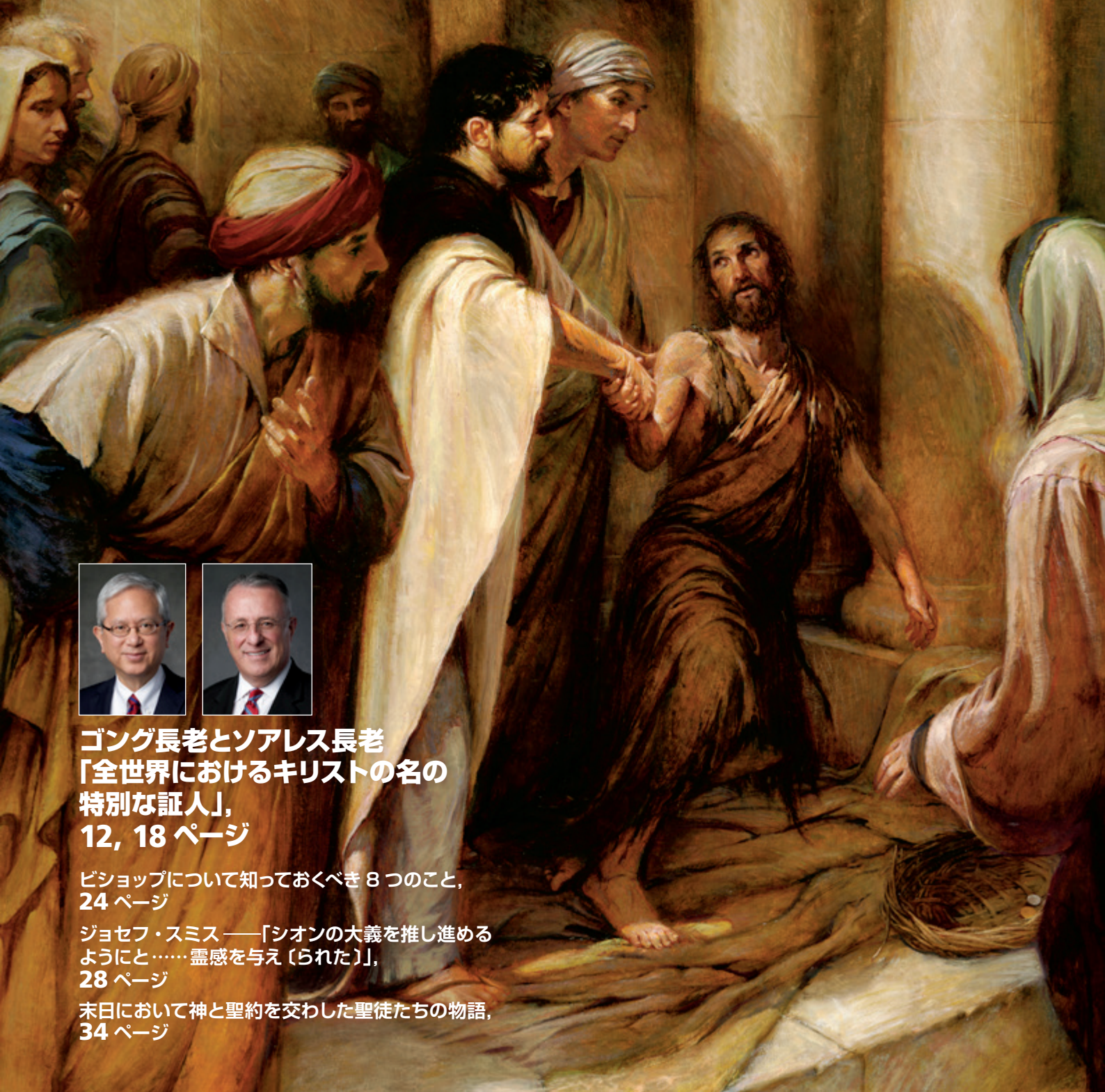


リアホナ




**ゴング長老とソアレス長老
「全世界におけるキリストの名の
特別な証人」、
12, 18 ページ**

ビショップについて知っておくべき8つのこと、
24 ページ

ジョセフ・スミス — 「シオンの大義を推し進める
ようと……靈感を与えられた」、
28 ページ

末日において神と聖約を交わした聖徒たちの物語、
34 ページ



**「天の両親がわたしたちの
究極の幸福と昇栄のために
計画を立てられた**

と知ることによって、将来を見通し、
神聖な両親から愛されている
子供であることを認識し、
……主への信頼を
増すことができます。」

クエンティン・L・クック長老



特集

6 ミニスタリングの原則——
人々を助けるために協力を得る
ミニスタリングにほかの人の参加を
求める場合とその方法をどのよう
に知ることができますか？

12 ゲレット・W・ゴング長老——
主を愛し信頼する
D・トッド・クリストファーソン長老

18 ウリセス・ソアレス長老——
偽りのない人
ニール・L・アンダーセン長老

24 すべてのビショップがワードの
会員に知ってほしいと思うこと
マイケル・メイヤーズ
時にわたしたちは、ビショップも
わたしたちと変わらない人間で、
自らの召しをよく果たすためにた
だ最善を尽くしているのだとい
うことを忘れてしまいます。

28 聖徒たち——教会の物語
第8章——
キリストの教会の幕開け
モルモン書の印刷が進む中、何
人かの人々が教会に導かれました。
モルモン書の出版後、ジョ
セフは教会を組織します。

34 どれほど憐れみを
主にかけてこられたか
クエンティン・L・クック長老
教会員はこの新しい教会歴史シリー
ズの中から信仰深い末日聖徒につ
いて読むことによって靈感を受ける
ことができます。

シリーズ

4 信仰の肖像——
マイケル・アイザック——
ポーランド、ブイドゴシュチュ

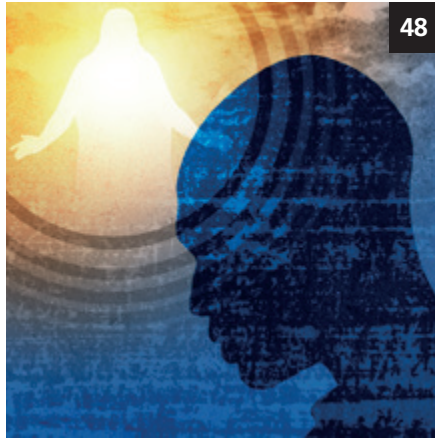
10 わたしたちが信じていること——
什分の一のゆくえ

40 末日聖徒の声

80 また会う日まで——
会員の支持を受けること
ジェームズ・E・ファウスト管長



表紙
わたしにあるものをあげよう/
ウォルター・レーン



48

44 福音に従って生活する動機

ミンディー・セル

実際、わたしたちが義にかなった生活をする理由はたった一つなのです。

48 悔い改めの最初のステップ

オーリラス・ペテルソン

ビショップに会いに行くのは非常に勇気のいることでしたが、そうすることで必要とする変化がもたらされました。

こんげつごう なか
今月号の中に
かく 隠れているリアホナを
さが 捜しましょう。
ヒント——
ひかり
どうやって光を
かがやかせますか？



50

50 主の方法で学ぶ

デビッド・A・ベドナー長老

御霊を教師として受け入れるとき、わたしたちの能力は引き上げられます。

54 5つの方法で総大会から学ぶ

総大会からより多くのことを学ぶためのアイデアを得ることができます。

56 聖霊から教えを受ける

青少年が総大会から学んだことを分かち合ってくれます。

58 ポスター——耳を傾けるなら

59 総大会について知る

60 質疑応答

家族が争ったり口論したりしているときに御霊を家庭に招くには、どうすればよいでしょうか。

62 将来の備えとなる道

4人のヤングアダルトの経験から将来どのようにして成功を得ることができるか知ることができます。



72

66 神の愛を伝える

アリー・B

引越先支部には、あまり人がいないことが分かりました。そのことについて何かしようと決心しました。

67 谷でささげたいのり

カーセン・K

もう車に戻るまでの道を見つけることができないのではないかと思いました。

68 光をかがやかせる——

チェコ共和国で
光をかがやかせる

70 キリストについてあかしする使徒

ジェフリー・R・ホルランド長老

71 わたしたちのページ

72 信仰、希望、めぐみ——第3部

オランダにおける希望

メーガン・アームクネヒト

74 モルモン書読書クラブ

75 旧約聖書のヒーロー——

勇気あるエステル

76 聖文の物語——女王エステル

キム・ウェブ・リード

79 色をぬりましょう——

わたしはほかの人が愛されていると感じるように助けることができます

リアホナ 2018年10月号

第20巻10号(14754 300)

末日聖徒イエス・キリスト教会国際機関誌(日本語版)

大管長会:ラッセル・M・ネルソン, ダリン・H・オークス, ヘンリー・B・アイリング

十二使徒定員会:M・ラッセル・バラード, ジェフリー・R・ホランド, ディーター・F・ウークトドルフ, デビッド・A・ペドナー, クエンティン・L・クック, D・トッド・クリストファーツン, ニール・L・アンダーセン, ロナルド・A・ラスバンド, ゲーリー・E・スティーンソン, デール・G・レインランド, ゲレット・W・ゴング, ウリセス・ソアレ

編集長:ヒューゴ・E・マルチネス

編集長補佐:ランドール・K・ベネット, ベッキー・クレブソン

顧問:プライアン・K・アシュトン, リグランド・R・カーティス・ジュニア, エドワード・デュベ, シャロン・ユバンク, クリスティーン・B・フランコ, ドナルド・L・ホールストロム, ダグラス・D・ホームズ

実務運営ディレクター:リチャード・I・ヒートン

教会機関誌ディレクター:アラン・R・ロイボーク

ビジネスマネージャー:ガフ・キャノン

編集主幹:アダム・C・オルソン

編集主幹補佐:ライアン・カー

出版補佐:フランシスカ・オルソン

執筆・編集:マリッサ・デニス, デビッド・ディクソン, デビッド・A・エドワーズ, マシュー・D・フリットン, ローリー・フラー, キャレット・H・ガフ, ラリー・ポーター・ガント, ジョン・ライアン・ジェンセン, シャーロット・ラーカバル, マイケル・R・モリス, エリック・B・マードック, サリー・ジョンソン, オデカーク・ジョシュア・J・パーカー, ジョン・ビンボロー, リチャード・M・ロムニー, ミンディー・セル, チャケル・ワードレイ, マリッサ・ウィティソン

編集インターン:リー・パーソン

実務運営アートディレクター:J・スコット・クヌーセン

アートディレクター:タッド・R・ピーターソン

デザイン:ジャネット・アンドリュース, フェイ・P・アンドラス, マンディー・ベントレー, C・キンボール・ボット, トーマス・チャイルド, デビッド・グリーン, コリソン・ヒンクレー, エリック・P・ジョンソン, スーザン・ロフグレン, スコット・M・ムーイ, エミリー・チエコ・レミントン, マーク・W・ロビソン, ブラッド・テアー, K・ニコール・ウーゲンホースト

デザインインターン:マリッサ・M・スミス

著作権および許諾コーディネーター:コレット・ネベカー・オーヌ

制作主幹:ジェーン・アン・ピーターズ

制作:アイラ・グレン・アデア, ジュリー・バーデット, トーマス・G・クロニ, プライアン・W・ギューギ, ギニー・J・ニルソン, デレク・リチャードソン

製版:ジョシュア・デニス

印刷ディレクター:スティーブ・T・ルイス

配送ディレクター:トロイ・R・バーカー

日本語版翻訳課長:大森陽子

郵便宛先:Liahona, Fl. 23, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150-0023, USA.

●定期購読は、「リアホナ」注文用紙]でお申し込みになるか、郵便振替(口座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振込口座番号/00100-6-41512)にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……〒133-0057 東京都江戸川区西小岩 5-8-6 / 末日聖徒イエス・キリスト教会 管理本部配送センター 電話:03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会

〒106-0047 東京都港区南麻布 5-10-30

電話:03-3440-2351

年間購読:国内 1,150円(送料込み)

海外 1,150円(+送料実費)

海外在住の方はお近くのデストリビューションセンターへのお申込みをお勧めします。普通号/大会号 110円

「リアホナ」(モルモン書に出てくる言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。アルメニア語, アルメニア語, ビスマラ語, フルガリア語, カンボジア語, セブアノ語, 中国語, 中国語(簡体字), クロアチア語, チェコ語, デンマーク語, オランダ語, 英語, エストニア語, フィジー語, フィンランド語, フランス語, ドイツ語, キリヤ語, ハンガリー語, アイランド語, インドネシア語, イタリア語, 日本語, キリヤ語, 韓国語, ラトビア語, リトアニア語, マダガスカル語, マーシャル語, モンゴル語, ノルウェー語, ポーランド語, ポルトガル語, ルーマニア語, ロシア語, サモア語, スロベニア語, ス페인語, スワヒリ語, スウェーデン語, タガログ語, タヒチ語, タイ語, トンガ語, ウクライナ語, ウルドゥー語, ベトナム語(発行頻度は言語により異なります。)

©2018 Intellectual Reserve, Inc. All rights reserved. 印刷:韓国

著作権情報:制限の記載がない限り、「リアホナ」に掲載されているものは、個人的に、また非営利目的(教会の召しも含む)で使用する場合に複写することができます。この指示内容は変更の可能性が常にあります。視覚資料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複写できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 E. North Temple St., Fl. 13, Salt Lake City, UT 84150, USA に郵送するか、電子メール——cor-intellectualproperty@ldschurch.org にご連絡ください。

For Readers in the United States and Canada:

October 2018 Vol. 42 No. 10. LIAHONA (USPS 311-480)

English (ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150. USA subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (American Express, Discover, MasterCard, Visa) may be taken by phone or at store.lds.org. (Canada Post Information: Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send all UAA to CFS (see DMM 507.1.5.2).

NONPOSTAL AND MILITARY FACILITIES: Send address changes to Distribution Services, Church Magazines, P.O. Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368, USA.

インターネットで得られる追加情報



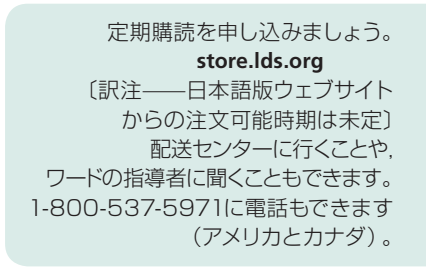
以下で記事を読みましょう。
記事を投稿することもできます。
liahona.lds.org



心を鼓舞し、
共有できるメッセージを
以下で見つけましょう。
(英語、ポルトガル語、スペイン語)
facebook.com/liahona



ご意見・ご提案は以下まで
お寄せください。
liahona@ldschurch.org



定期購読を申し込みましょう。
store.lds.org

(訳注——日本語版ウェブサイト
からの注文可能時期は未定)
配送センターに行くことや、
ワードの指導者に聞くこともできます。
1-800-537-5971に電話もできます
(アメリカとカナダ)。

REA/AL GETTY IMAGES

今月号に採り上げられているテーマ

数字は記事の最初のページを表します。

愛, 66, 79

証, 56, 68, 71

イエス・キリスト, 44, 70

一致, 24, 43, 60

折り, 4, 40, 41, 67, 68

逆境, 4

旧約聖書, 75, 76

教会指導者, 12, 18

教会歴史, 28, 34

悔い改め, 48

啓示, 41, 50

雇用, 62

什分の一, 10

ジョセフ・スミス, 28, 34

自立, 40, 62

信仰, 4, 40, 42, 44

神殿, 42, 71

聖霊, 50, 56, 60

総大会, 54, 56, 58, 59

伝道活動, 43, 66

天の御父, 34, 43

ビショップ, 24, 48

学び, 50

ミニスタリング, 6, 24

模範, 68

モルモン書, 28, 74

勇気, 75, 76

赦し, 48, 72

預言者, 42, 71, 80





信 仰 の 肖 像

「病には良いことも結構あるのです。」腎不全を患っているマイケルはそう語ります。病気によって福音への感謝が増したと考えるマイケルにとって、病気は「良い試練」と言えるものでした。

レスリー・ニルソン, 写真家

マイケル・アイザック

ポーランド, ブイドゴシュチュ

最初は「なぜわたしが」という思いが強く、怒りさえありました。わたしは祈りました。「主よ、わたしは主に仕えてきたではありませんか。」しばらくして理解することができました。聖文にはこう書かれています。「わたしによって癒されるという信仰を持っていて、死に定められていない者は、癒されるであろう。」(教義と聖約 42:48)

わたしの教会の会員は祈り続けてくれていますが、わたしの健康状態は悪くなる一方です。彼らは祈りが届いていないと考えているようですが、そんなことはありません。彼らはより善い人になっていきますし、示してくれる愛をわたしは感じ取っているのですから。

わたしが健康だったとしても、この年齢であとどれほどの時間が残されているというのでしょうか。それでも、目の前にたくさんチャンスがあります。

わたしには教会があります。祈りや断食、あらゆる行動を通じて神に語りかける手段があります。ほかに何が必要だと言うのでしょうか。

時折自分にこう言い聞かせています。「自分がどれほど素晴らしいものに属していて、この大義がどれほど素晴らしいかを理解するために、わたしは病気なのだろう。」

もっと読む

希望の力で人生の難題に取り組む方法について、ラッセル・M・ネルソン大管長から学びましょう。詳しくは、lds.org/go/10185 をご参照ください。

「信仰の肖像」のほかの記事は、lds.org/go/18 でご覧になれます。

ミニスタリングの原則

人々を助けるために 協力を得る

ミニスタリングの取り組みに助けが必要な場合、

どのようにほかの人の参加を求めるべきでしょうか。

ミニスタリング面接や第1日曜日の評議会集会に参加しましょう。

多 発性硬化症により車椅子生活を余儀なくされたキャシーは、毎晩車椅子からベッドに移るのに助けが必要になりました。一人の会員が行うには負担が大きすぎるため、長老定員会はキャシーの状況について話し合い、スケジュールを組んで、毎晩彼女を助けることに決めました。¹

仕える相手の必要や強さを知ると、その必要にこたえるには助けが必要だと気づくことがあるかもしれません。ミニスタリング面接や第1日曜日の評議会集会は、ほかの人たちに参加してもらおう適切な方法について話し合う良い機会です。

ミニスタリング面接

ミニスタリングをする相手について公式に報告するのは、ミニスタリングシスターと扶助協会会長会、またはミニスタリングブラザーと長老定員会会長会との間で四半期ごとに行われるミニスタリング面接においてのみです。ミニスタリング面接は少なくとも

四半期に1度の頻度で行われ、(1) 割り当てられた家族や個人の強さ、必要、問題について話し合う、(2) 定員会、扶助協会、あるいはワード評議会が援助できる必要を見極める、(3) 指導者から学び、ミニスタリングの取り組みについて励ましを受ける機会となります。

重要な問題については、長老定員会会長と扶助協会会長は直接ビショップに連絡し、助言と指示を受けます。

ミニスタリング面接に関する詳しい情報は、www.lds.org/ministering?lang=jpn&cid=rda_v_ministering_jpnに掲載されています。

ミニスタリング面接をより有意義なものとするには

十二使徒定員会のゲーリー・E・ステューブソン長老は、ミニスタリングプログラムが教会にとって重要な分岐点になるというラッセル・M・ネルソン大管長の言葉を支持し、次のように教えています。「大管長のビ

「ミニスタリングの原則」の記事は、互いを思いやる方法を学ぶためのものであって、訪問時にメッセージとして伝えるものではありません。仕える相手をよく知ると、心にかけて、思いやっていることを伝えるだけでなく、聖霊の促しによって相手に必要なメッセージも分かるようになります。



イエスは人々とともに御業を行われた

イエスは大麦のパン5つと魚2匹から5千人の群衆に食べさせられました。

ヨハネ6:5-14を読み、主がこのミニスタリングの業を行ううえで

何度人々とともに御業を行われたか数えてみましょう。



ジョンを実現するには……ミニスタリングブラザーとシスターがミニスタリング面接でどれだけ十分に教えを受け、この面接にどれだけ積極的に参加するかが、大いに重要になります。」²

ミニスタリングブラザーとシスターへの4つのヒント：

- 助言を求めて面接に参加する。学ぶ姿勢を持つ。
- 助けるために協力が必要と思われる問題について話し合う準備をする。
- 問題だけでなく、その人の強さや能力にも注目する。
- 四半期ごとの面接以外にも、必要に応じて会長会に連絡して相談する。

指導者への5つのヒント：

- 面接に長い時間をかける必要はないが、有意義な会話ができる場所と十分な時間を持てるよう計画する。
- ミニスタリングブラザーまたはシスターに対してミニスタリングを行う機会とする。
- 訪問した数や連絡の有無を調べているだけという印象を与えるような質問（「ミニスタリングを済ませましたか」など）をしない。望ましい行動を促す質問（「担当家族のために祈ったとき、どのような促しを感じましたか。その促しに従って行動した結果、どのようなことが起こりましたか」など）をする。
- 心から耳を傾け、メモを取る。
- 一緒に話し合う。ミニスタリングの

同僚組は担当する相手について啓示を受ける権利がある。³

ミニスタリング面接に関する質疑応答

ミニスタリング面接とは何でしょうか。

聖霊からの靈感を求め、それを受けられる状況の下、ミニスタリングブラザーと長老定員会会長会の一員、ミニスタリングシスターと扶助協会会長会の一員の間で行われる話し合いです。面接の結果、ミニスタリングブラザーとシスターは救い主の方法で見守り、愛し、教え、慰めるよう靈感を受けることができます。

このような四半期ごとの面接は直接会って行う必要がありますか。

通常は、直接会って行いますが、それが実用的でない場合、電話やオンラインで行うこともできます。通常、適切な場合は同僚が二人とも面接に参加します。

ミニスタリング面接の目的は何でしょうか。

ミニスタリング面接は、ミニスタリングブラザーとシスターが現状を振り返り、今後の計画を立て、担当する個人や家族にミニスタリングを行ううえで必要な協力を得るための機会です。定員会や扶助協会が提供できるリソースについて話すチャンスです。

内密、または慎重に取り扱うべき問題には、どのように取り組むべきですか。

ミニスタリングブラザーとシスターは内密情報を長老定員会会長または扶助協会会長だけに報告するか、ビショップに直接報告します。内密、または慎重に取り扱うべき情報は、第1日曜日の評議会集会で話し合うべきではありません。

www.lds.org/mycalling/ministering/ministering-interviews?lang=jpn からミニスタリング面接の訓練ビデオを視聴することができます。

第1日曜日の評議会集会

ミニスタリング面接のみならず、第1日

ミニスタリング面接の中心は、人々の必要について話し合うことです。
2018年9月号のミニスタリングの原則の記事「人々の必要について話し合う」も参照してください。



曜日の評議会集会も人々がミニスタリングにかかわる機会です。扶助協会と長老定員会の集会では、御霊や人々を通して、靈感を受けることができます。

評議会集会には以下の目的があります。

- 地元における責任や機会、課題についてともに評議する。
- 互いの考えや経験から学び合う。
- 御霊から受けた印象に基づいて行動する方法を計画する。⁴

評議会集会は単なる話し合いにとどまらず、個人として、またはグループとして、御霊によって靈感を受けて行動するよう導かれる場です。評議会集会により、会員は主の業を成し遂げたいと願うようになります。

行動を促す

十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老はこう述

べています。「今日わたしたちが願うのは、すべての成人男性と女性、そして14歳以上の若い男性と若い女性が、ただキリストの純粋な愛のゆえに、心から互いを思いやるという決意をさらに深め〔る〕ことです。」⁵ ■

注

1. See *Mormon Messages* video "Lift," lds.org/media-library.
2. ゲーリー・E・ステューブソン「ミニスタリング面接」(ビデオ) www.lds.org/mycalling/ministering/ministering-interviews?lang=jpn
3. ラッセル・M・ネルソン「ミニスタリング」『リアホナ』2018年5月号, 100
4. 「わたしに従ってきなさい——メルキゼデク神権および扶助協会用」『リアホナ』2017年11月号, 140; comefollowme.lds.org にも掲載
5. ジェフリー・R・ホランド「彼らとともにいて、彼らを強める」『リアホナ』2018年5月号, 103 参照

什分の一のゆくえ

什分の一として納めているお金はどうなるのでしょうか。



収入を得ます。



その10パーセントを什分の一として納めます(教義と聖約119章参照)。



什分の一は、ビショップリックまたは支部会長会の一員に渡すか、オンラインで donations.lds.org から納めます。



教会本部において大管長会、十二使徒定員会、管理ビショップリックが什分の一配分評議会を構成します(教義と聖約120章参照)。主の指示の下、彼らは神聖な什分の一の資金の使い道について、靈感を基に決定を下します。

什分の一の用途 ——



神殿、教会、教会が所有する
そのほかの施設の建設と
維持管理



教会教育プログラムの運営



聖典をはじめとする
資料の印刷



家族歴史の探求



福祉および人道支援



伝道活動



ワードまたは支部で
会員が親交を深めるための
教会の活動

さらに学ぶ

- デビッド・A・ベドナー
長老「天の窓」2013
年10月総大会
- マラキ 3:7-18
- 「什分の一」『真理を守
る』93-95



十二使徒定員会
D・トッド・
クリストファーソン
長老

ゲレット・W・ゴング長老 —

主を愛し信頼する

イギリスのオックスフォード大学の大学院生であり、結婚したばかりだったゲレット・W・ゴングは、主を愛し、信頼するならば、主が助け導いて、強めてくださるということを自らの経験から学びました。

ゲレットはローズ奨学生として大学院で二つの学位を取るために学んでいましたが、そのうちの一つは博士課程でした。それと同時に、彼はオックスフォードワードのビショップリックとしても奉仕していました。彼と妻のスーザンは、十二使徒定員会のデビッド・B・ヘイト長老（1906 - 2004年）がソルトレーク神殿で二人の結び固めを執り行ったときに与えてくれた助言を今でも覚えています。「彼は、わたしたちにいつも召しを受けているようにと言いました」とゴング長老は述べています。「わたしたちが主を信頼し、最善を尽くせば、主はわたしたちを助けてくださると知っていました。」

ゲレットとスーザンは、「天からの助けと主の憐れみ」を受けたと、ゴング長老は述べています。ビショップリックとしての奉仕を続けながら、ゲレットは博士の学位を受けるために必要な博士論文以外のすべての要件を満たしました。彼はオックスフォードワードのビショップであるアラン・ウェブスターに神権の祝福を求めました。その祝福の中で、ゲレットはこのような約束を受けました。「自分にできるすべてのことを引き続き行いなさい。そうすれば主が祝福してください。」

経験豊かな法務秘書であるワードの二人の会員が無償で論文の原稿をタイプしてくれたので、ゲレットは数か月で博士論文を書き終えることができました。実に、彼は修士課程と博士課程を3年と少しの期間で修了したのです。卒業後は大学に残り、研究職に就きました。オックスフォードでの経験

を通して主への信頼が強まりましたが、今でも変わらないその信頼は、これからも十二使徒定員会において奉仕するゲレット・W・ゴング長老に祝福をもたらすことでしょう。

パンと魚

「主は優しく、慈悲深くあられ、わたしたちを祝福しようとなさっています」とゴング長老は述べています。「わたしたちが最善を尽くすとき、主はわたしたち自身の力を超えた働きを可能にしてください。パンと魚を増やされたようにです。主は、御自身に仕えようと望む者を受け入れられ、彼らが自力で果たせることよりもはるかに偉大な働きができるようにしてください。」

パンと魚の原則は学びに関しても当てはまるとゴング長老は述べています。「正式な教育を受ける機会がなかったとしても、学びの精神が重要なのです。なぜなら学びは永遠に続くものだからです。わたしたちは皆、状況にかかわらず、





光と真理を求めることができます。そうするときに、主はそれを見いだせるように助けてくださいます。」

聖約によるつながり

オックスフォードにいたときに、ゴング長老は「聖約によるつながり」と呼んでいる、もう一つの福音の原則を学びました。

「わたしたちが主に近づくときに、わたしたちの互いの距離も近づきます」とゴング長老は述べています。「スーザンとわたしは、オックスフォードにおいて、大学での学術的な経験と同じくらい素晴らしい経験をワードにおいてすることができました。今でもほんとうに親しい友人の多くは

ゴング長老は自身が感じている幸福について、両親のジーンとウォルター、そして妻のスーザンのおかげだと感じています。ゴング長老の両親の家は、「神が御自身のすべての子供たちに持っておられる愛への深い敬虔さで満ちていました」と彼は述べています。ゴング長老がスーザンに初めて会ったとき、彼はスーザンのことを長い間知っていたかのように感じました。

長やワード評議会の皆さんに、ほんとうに感謝しています。わたしたちは皆、両親や親戚、近所の人々、伝道部会長、姉妹たちや神権指導者の優しさや導き、励ましのおかげでキリストのもとに近づくことができます。」

家族の受け継ぎ

ゴング長老の家族歴史は、紀元 837 年に生まれたドラゴン・ゴング一世まで 34 世代さかのぼります。ゴング長老の祖父母が中国からアメリカに移住して来ました。彼の母親ジーンは 10 代のときにアメリカのハワイで教会に入り、後にユタ州プロボ市にあるブリガム・ヤング大学 (BYU) で学びました。その間、芸術学部の初

オックスフォードワードで知り合った人々です。」

ティム・ウィットと妻のキャサリンもそのような友人で、彼らはゴング夫妻と神殿に行ったときのことを覚えています。「とてもよく覚えているのは、ゴング兄弟が腕時計を外したことです。永遠に関する事柄について深く考えるときに、時間的な制約を受けないようにするためです」とウィット姉妹は話します。「その小さな行いを見て、わたしも神殿での礼拝に、もっと熱心になりました。」

ゴング家族は、福音を通して知り合った友人によく会います。「『あなたが高等評議員だったときに一緒に奉仕しましたよね』などと言われますし、そうやってこちらから話しかけることもあります」とゴング長老は話します。「わたしが若いビショップだったときに助けてくれたステーク会

代学部長となったゲレット・デヨングの家族のもとに滞在していました。「デヨング家族は、福音のある家庭がどんなものか理解する助けとなりました」と彼女は述べています。

BYUを卒業後、ジーンはアメリカのカリフォルニア州パロアルトにあるスタンフォード大学に行き、そこでウォルター・A・ゴングに出会いました。「彼はすでにクリスチャンで、回復された福音が何をもたらすのかすぐに理解できました」と彼女は述べています。ウォルターは教会に入り、その1年後に二人はソルトレーク神殿で結婚しました。二人とも専門的な教育者となり、二人合わせて70年におよぶ教育経験を積みました。

ゴング長老はこう述べます。「父は祝福師にもなりました。祝福師の祝福を受けるのは、わたしたちの家で行われたので、我が家は神の御自身の子供たちに対する愛への深い敬虔さで満たされていました。」

1953年12月23日、カリフォルニア州のレッドウッドで、ジーンとウォルターの3人の子供のうち、最初の子供が生まれました。「ゲレットという彼の名前はオランダ語の名前ですが、ゲレット・デヨングをたたえて名付けました」とジーンは説明しています。「ミドルネームはウォルターですが、彼の父親にちなんで付けました。そしてわたしたちの姓は中国語ですが、それはわたしたちの受け継ぎをたたえています。」

ジーンは、ゲレットが下の弟妹たち、ブライアンとマルゲリーテに深い思いやりをもっていと述べています。「靴ひもの結び方を教えるなどの小さなことでも、ゲレットは彼らを助けるのが好きでした。」彼女はある日、教会から帰って来て、ゲレットとブライアンが聖餐会のお話がつまらなかったと話しているのを聞いたときのことを覚えています。「それで、わたしは彼らにチャレンジしました。『それなら、もっといいお話をあなたたちが考えてごらん下さい。』二人はそのチャレンジを受けて、聖餐会のすべての話をより注意深く聞くようになりました。」

10代のとき、ゲレットはワードのほかの若い男性とバックパッキング〔訳注——リュックを背負って旅行に行くこと〕やハイキングに行くこと

左から：二人の結婚披露宴であいさつするマジョリー・ヒンクレー姉妹とゴードン・B・ヒンクレー大管長。台湾で奉仕する宣教師としてゴング長老はある家族を教え、何十年もたった後、中央幹部としてその家族の一人の娘の孫に会いました。ベトナムでゴング長老姉妹が試練に直面している子供たちに喜んでもらおうと、壁画を塗っている様子。ゴング家族と、ベトナムで壁画を塗る手伝いをしてくれた人々。

が好きでした。長年の友人であるウォリー・サルバッカは、あるキャンプ旅行のことを特に覚えています。「わたしはゲレットと弟のブライアン、そして教会員ではない友人といました。どういうわけか、わたしたちは賛美歌を歌い始めました。ゲレットがメロディーを歌い、ブライアンはテナー、わたしはバスを歌いました。恐らく、10曲から20曲くらいは歌ったかと思います。楽しんで歌っていました。とても良い経験でした。教会員ではないわたしたちの友人はとても感心していました。」

サルバッカ兄弟は高校のときに、ゲレットがチェスチームのためにチアリーダーたちに沈黙の応援をするために来るよう頼んだことも覚えてい



ます。「ゲレットはチアリーダーたちに、心の支えはだれにでも必要なんだと説得しました。そしてチェスの試合にほんとうに応援に来てくれたんです。」

高校を卒業して、ゴング長老はブリガム・ヤング大学に行きました。1973年から1975年にかけて、ゴング長老は台湾の台北伝道部で奉仕しました。その後BYUに復学して、1977年にアジア研究学と特別専攻で学士号を取得しました。

交際期間と結婚

伝道の後、ゴング長老はプロボの宣教師訓練センターで日曜日の夜にあるファイヤサイドを行うというボランティアをしました。ファイヤサイドを通して、台湾で奉仕する宣教師たちに、台湾の人々や習慣、文化について教えました。そ

れら宣教師の中に、ユタ州テイラーズビルから来ていたリチャード・P・リンジー兄弟と妻のマリアン・B・リンジー姉妹の娘のスーザン・リンジーがいました。リンジー兄弟は七十人第二定員会の会員でした。「スーザンは長い間の知り合いのように感じました」とゴング長老は述べています。

2年後に、スーザンが伝道から帰還して数か月たったころ、ゲレットは家族と一緒にプロボにいました。ゲレットの父親は大学で教えていて、ゲレットは2週間ほど滞在する予定でした。その滞在期間は、彼がスーザンと毎日デートするようになって、4週間に延びました。それからゲレットはオックスフォードに戻る前に、ハワイでのインターンシップに向かいました。

「わたしたちは東半球と西半球で遠距離恋愛をしました」とゴング長老は述べています。「イギリスで学んでいましたが、同時に大西洋の向こうにいる彼女についてできるかぎり知ろうとしました。」

「わたしたちは電話で婚約したんです」とゴング姉妹は言います。「感謝祭のときに彼が実家に帰省していて、新年の神殿が開館する初日に結婚しました。」2週間後に二人はイ



ギリスに渡り、一緒に新しい生活を始めました。

ゴング長老は続けます。「結婚すると、二つの家族が一つになるとよく言いますが、ほんとうにそのとおりでした。わたしは自分がゴング家族の一員であるように、リンジーの家族の一員だと感じています。」

輝かしいキャリア

オックスフォードで短い間教鞭を執った後、ゲレットのキャリアはアメリカ合衆国のワシントン D.C.での行政関連の仕事へと変わりました。1984年にはレーガン大統領とブッシュ副大統領の再選を目指した選挙運動のスタッフとして働きました。そのときに、後にユタ州知事となるマイク・リーヴィットと事務所を共有しました。リーヴィット兄弟はこう述べています。「ゲレットはよく周りを観察していて、思慮深い人でした。彼はそのたゆみない優しきで人々に知られていました。」

1985年、ゲレットは国務省の国務次官特別補佐官を務めました。1987年には、中国・北京駐在米国大使の特別補佐官となりました。1989年から2001年まで、ワシントン D.C.の戦略国際問題研究所で様々な役職を歴任し、その後、ブリガム・ヤング大学で学長補佐の役職を受け入れ、学術分野へと戻ってきました。そこでは9年間、戦略的計画の立案を担当しました。

BYUの学長補佐として広報関連の担当をしていたキャリー・ジェンキンズは、すぐ隣のオフィスで働いていました。彼女は、周囲の人々を励ますゲレット・ゴングの能力を覚えています。「困難な割り当てを受けて、やり遂げる自信がないときも、彼は自信をくれました。彼は能力の限りを尽くして相談に乗り、希望を与え、自分にはそれができると証明する助けを与えてくれました。」

連邦判事のトーマス・B・グリフィスはワシントンでもBYUでもゴング長老を知っていましたが、彼とのやりとりに





についてこう述べています。「会話の後で、話題の中心は自分だったと気がつくのです。彼はほんとうに聞き上手でした。そして考えさせるような質問をしてきました。」

名誉中央幹部七十人で、元BYUの学長であったセシル・O・サミュエルソンはゴング長老について、「彼はたいてい静かでしたが、頭はいつも高速回転していました」と述べています。

家族生活

ゲレット・ゴングと妻のスーザンには4人の息子がいます。アブラハム、サミュエル、クリストファー、そしてマシューですが、彼らは皆異なった環境で育ちました。

「北京に住んでいたとき、息子たちは互いの親友になるという祝福に恵まれました」とゴング長老は述べています。

「その一方で、彼らは世界の様々な側面を見る機会を得ました」とゴング姉妹は付け加えます。「また、家族としてのつながりを強める機会にもなりました。息子たちは今でも、わたしたちが親として行った最善のことは、彼らに兄弟を与えたことだと言っています。」

ゴング長老はこう言います。「飛行機のマイルがたまる度に、順番に行きたい場所を選ばせました。わたしたちが住んでいたワシントンD.C.から始めて、そこからイギリス、チェコ共和国、ギリシャ、トルコ、インド、中国、そして日本を訪れました。」

「旅行の間、一つだけ守るべき約束がありました」とスーザンは述べています。「どこに行っても、地元の人々が食べているものを食べることです。」最終的に、日本での旅行の終わりに、ゴング長老は息子たちに、牛肉の料理で世界的に有名なレストランに連れて行くと伝えました。マクドナルドで、おなかをすかせた4人の息子たちと両親で、17個のハンバーガーを食べたのです。

「母も父も、経験を通して学ぶことを大切にしていました」

とアブラハムは言います。「父は、文化全体を含めて、経験することがどのように人格を形成するのかを深く考えています。」彼はまた、父親についてこう述べています。「父は自分が言うことに責任を持っていたので、言葉に気を付けていました。」

サム(サミュエル)は次のようなことを覚えています。「父は国務省での仕事がほんとうに忙しかったにもかかわらず、毎晩時間を取って、自分が参加したかった『チャレンジ24』と呼ばれる小学3年生の算数のコンテストのために訓練をしてくれました。優勝することができたら、アイスクリーム・サンデーと24種類のトッピングでパーティーをしようと父は言いました。」サムは全国大会まで進みましたが、優勝はできませんでした。それでもゴング家族はサンデーを楽しみました。しかし、24種類のトッピングを考えるのは容易ではありませんでした。トッピングの一つにビーフジャーキーがありましたから。

クリストファーとマシューは、彼らの父親と母親が、互いを信頼し、愛し合い、自分をささげていたことをどれほど感謝しているか話してくれました。それはゴング長老姉妹が互いに共有し、息子たち一人一人と、そして親戚の人々とも共有している愛でした。

「ゲレットは献身的な父親であるとともに、献身的な息子



であり、兄弟です」とスーザンは述べています。「それらの役割も彼にとって大切なのです。彼は、家族の関係がすべての中で最も大切なのだとわたしたちが理解できるように助けてくれます。」

教会での経験

仕事や家族のために忙しくしていたにもかかわらず、ゴング長老はこれまで、高等評議員、大祭司グループリーダー、ステーキ日曜学校会長、セミナー教師、ビショップ、ステーキ伝道部会長、ステーキ会長、地域七十人など、多数の教会の召しを果たしてきました。

どのような召しを果たすように求められたときも、また家庭生活においても、彼は一貫として一つの特質を示してきました。「彼はすべての人を天の御父の息子、娘として見ています」と



左から：タイでバンコクのカトリック大司教であるフランシス・ザビエル・クリエンサク・コーウィタワーニット枢機卿と会談するゴング長老。カナダ旅行で息子のサムと。ゴング長老は息子たちと二人旅をするのを楽しみにしています。2017年にセミナーとインスティテュート教師たちに命のパンについて説明しているゴング長老。カンボジアの会員の家であいさつを交わすゴング姉妹

スーザンは言います。「しかし、何にも増して、彼は主を愛しています。彼は王国を築き、天の御父の子供たちを祝福することを心から望んでいます。」

そしてゴング長老は妻を尊敬しています。「わたしがどのようなことを頼まれても、スーザンはわたしの傍らにいます。彼女はだれとでも親しくなることができ、他の人々のことを考えています。また、彼女は喜んで新しい場所に行き、新しいことに挑戦してくれましたが、そのことを感謝しています。」

七十人としての奉仕

ゲレット・W・ゴング長老は2010年4月3日に中央幹部七十人として支持されました。ゴング長老は香港に本部のあるアジア地域会長会で奉仕する割り当てを受けました。後に彼はアジア地域会長として召されます。2015年10月6日、ゴング長老はアフリカや中央アメリカなどの地域の視察も含めて、引き続き国際的な経験を積んでいたときに、七十人会長会の一員として支持されました。

「これらの地域の聖徒たちに会うと、彼らをほんとうに愛するようになります」とゴング長老は述べています。「自分の信仰について話してくれる人々がいることを祝福に感じます。なぜなら、彼らの人生において、神の御手がどのように現れたのか聞くことによって、神がどのような御方であられるか、またわたしたち一人一人を愛してくださっているということを理解できるようになるからです。」

「ゴング長老にどのような状況の割り当てを任せても、それにかかわっている人々は新しい友人を見つけたと感ずるのです」と、ラッセル・M・ネルソン大管長は述べています。「彼は多くの知識を持っていますが、謙遜です。どのような人々に対しても共感できて、いつも備えができていて、説得力があります。」

使徒としての召し

ゴング長老はネルソン大管長から十二使徒定員会の会員として召されたときのことをこう述べています。「愛する妻スーザンの隣にいるわたしの手をラッセル・M・ネルソン大管長が優しく取り、主からの神聖な召しを告げました。わたしは圧倒され、息をのみました。」(『リアホナ』2018年5月号, 97) 謙遜でありながら、主への確固とした愛と信頼を持っているゴング長老は召しを受け入れました。ゴング長老は2018年3月31日に支持されました。主によって注意深く備えられたゴング長老は、「全世界におけるキリストの名の特別な証人」として仕え(教義と聖約107:23)、教え導く業を始めます。■



十二使徒定員会
ニール・L・
アンダーセン長老

ウリセス・ソアレス長老 ——

偽りのない人

教 導の業を始められたばかりで、御自身の使徒を選ばれていたとき、主はナタナエルが近づいて来るのを御覧になりました。主は即座にナタナエルの善良さを見抜かれ、こう言われました。「見よ、あの人こそ、ほんとうのイスラエル人である。その心には偽りがない。」¹

イエスは、ナタナエルが純粋な心と誠実な望みを持っており、偽善や偽りの心がないということを知りました。主はナタナエルの義にかなった高潔さの特質を愛され、彼を使徒に召されました。²

ウリセス・ソアレスは昔のナタナエルのようにであり、救い主は彼を召されたのです。

「両親からの光」

4人兄弟の末っ子であったウリセス・ソアレスは、1958年10月2日、ブラジルのサンパウロで生まれました。質素な家庭で育ちましたが、彼の両親であるアパレシード・カレチョ・ソアレスと妻のメルセデスはまじめで勤勉であり、宣教師の話を真剣に聞きました。二人は1965年、ウリセスが6歳のときに教会に入りました。

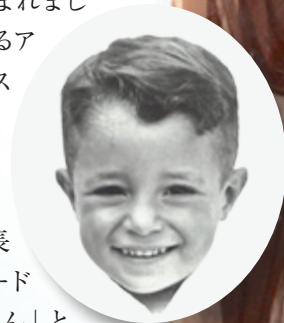
ウリセスが若い男性だったころにステーク会長を務めていたオシリス・カブラルは、「アパレシード兄弟が集会を欠席するのを見たことはありません」と述べています。「メルセデス姉妹もほんとうに忠実です。ウリセスは献身的な特質を両親から受け継いでいます。」

もともと善良だったウリセスの心は、主の道を学ぶことで開花していきました。「わたしは両親からの光に従って教会で育ちました」とウリセス長老は述べています。その光に従

うことで、逆境に遭っても彼の証は強まっていきました。

「わたしは自分の学校でただ一人の教会員でした。周りの少年たちはいつもわたしを巻き込んで、悪いことをさせようと誘ってきました。そのような試練の中で、自分を守る方法を学ぶ必要がありましたが、わたしは試練を乗り越えられるように、いつも心から主を信頼しました。若い男性のころから、自分のやるべきことを行えば、主も約束を果たしてくださいということを知りました。しかし、主の御手と福音にしっかりとしがみついていたなければなりません。」

ウリセスが15歳のとき、ビショップから青少年の日曜学校のクラスを教えるように頼まれました。あるとき、福音の証を得ることに焦点を当てたレッスンをしました。彼はモル





モン書をよく読んで、教会が真実だといつも感じ、救い主イエス・キリストを信じてきました。

ウリセスはレッスンの準備をしているときに、クラスみんなに福音が真実であることについて力強く証したいと思いました。ソアレス長老はこう述べています。「わたしは研究し、熱心に祈りました。ひざまずいた後で、とても穏やかな気持ちを感じて、小さな声が自分の歩んでいる道が正しいという確信を与えてくれました。あまりにもはっきりとした気持ちだったため、知らないとは決して言えませんでした。」

ウリセスは成長して、自分が期待されていることや求められていること以上のことを行うときに、主が豊かに祝福してくださるということを学びま

ウリセス・ソアレスが「教会で育つために光となった」両親のアパレシード・ソアレスと妻のメルセデス(左)。ウリセスは逆境に直面しても主を信頼することによって、少年のときから救い主と主の福音にしっかりしがみつくことを学びました。

した。そのような学びの機会が、伝道の備えをしているときにありました。伝道のための面接で、ビショップはウリセスに、戒めに従うことと、ふさわしく生活することの大切さを強調しました。ビショップはまた、経済的な備えの重要性についても伝えました。

現在、ブラジルからのすべての宣教師は家族からの経済援助を受けてすべての伝道資金を支払っています。ウリセスが伝道に出る年齢が近づいてきたとき、彼は伝道に必要な資金をすべて自分でためようと決心しました。彼は父親が経営する小さな会社で働きながら身につけた勤勉さを糧に、給与明細を準備する日勤の仕事を見いだしました。これには彼のタイピング技術が役

立ちました。

難しい入学試験に合格し、夜間の高等専門学校で会計学を学び始めました。毎月、什分の一を納めた残りは伝道のために貯金しました。1年後、彼は会社の会計課に異動となりました。

「そのようにして伝道資金をためたのです」とソアレス長老は述べています。「伝道に出るまでの3年間の間に、毎月何か伝道で必要なもの、シャツやズボン、靴下やネクタイ、スーツケースなどを購入しました。」彼は両親や地元の指導者からの深い愛とサポートも必要としていましたが、それは十分に受けました。

ウリセスはブラジルのリオデジャネイロ伝道部に召されました。彼の伝道の初めの期間は、

ブラジル人として最初の七十人に召された、エリオ・ダ・ローチャ・カマルゴ会長の下で働きました。ウリセスが伝道に出たのは1978年初頭でした。その年の終わりに、サンパウロに建てられたラテンアメリカ初の神殿が、スペンサー・W・キンボール大管長（1895 - 1985年）によって奉獻されました。

1980年1月、ウリセスと同じように、まだ自身のエンダウメントを受けていない同僚とリオデジャネイロからバスに乗って、8時間かけてブラジルのサンパウロ神殿に向かいました。ウリセスは両親ときょうだいと神殿で待ち合わせ、ソアレス家族は永遠に結び固められたのです。彼はサンパウロ神殿で過ごしたその5時間の経験を決して忘れたことはありません。その日のうちに彼と同僚は伝道地に戻って行きました。

神を最優先にする

ウリセスは実り多い伝道を終え、さらに証を強めました。伝道から帰還すると、仕事を見つけて、地元の大学で会計学と経済学を学び始めました。

帰還して7か月ほどたって、複合ステーキのダンスパーティーで「モルガード姉妹」と再会しました。彼は伝道中に、彼女のゾーンリーダーだったことがあり、二人は互いに近況報告をして、伝道の経験を分かち合いました。3週間後に、二人はデートを始めました。

ロサナ・フェルナンデス・モルガードの姉、マルガレスがロサナを教会に連れて行くようになったのは、彼女が8歳のときでした。最終的に、この二人の忠実な若い求道者は、父親からバプテスマの許可を受けましたが、二人とも17歳になるまで待たなければなりません。ロサナはバプテスマの許可を受けるまでに、9年間教会に通い続けました。

ウリセスはサンパウロの北部に、ロサナは南部の地域に、両親と住んでいました。広大なサンパウロを南北に移動するには、バスと地下鉄

ソアレス長老は「わたしの人生におけるすべての良いこと」は妻のロサナのおかげだと述べています。二人はブラジルのリオデジャネイロ伝道部での奉仕を終えて2年後に再会する機会があり、1982年に結婚しました（いちばん右）。



2000年に撮ったソアレス長老とロサナ姉妹（上）；家族との写真（右下）；1979年、専任宣教師として（右上）、新会員のエリザベ・ワグナー・デ・ソーサ・サントスと婚約者（現在では妻）のレジーナと。サントス兄弟は現在、エスピリト・サント州のヴィラ・ヴェーリャステーキのステーキ会長として奉仕している。後ろにいるのはソアレス長老の同僚のキム・ビケット長老



で2、3時間かかりました。幸運なことに、マルガレスと夫のクラウディオはロサナの両親の家の近くに住んでいました。

「ウリセスが週末にロサナとデートしに来ると、帰りが夜遅くなってしまうので大変でした」と、後に義理の兄となった中央幹部七十人のクラウディオ・R・M・コスタ長老は述べています。それでコスタ長老と妻のマルガレスは、デートが終わった後のウリセスを家に泊めてあげました。「しばらくの間、彼を養子にしたように感じていました」と

コスタ姉妹は続けます。「彼は我が家のリビ

ングのソファで寝ていました。わたしたちは結婚したばかりだったので、余分な毛布がありませんでした。でも彼は家にあった古いカーテンをかぶって寝ていました。翌日もロサナと会えるので、ウリセスはとともうれしそうでした。彼は妹のロサナにととも優しく、両親も彼を大変気に入っていました。」

ウリセスとロサナは1982年10月30日にブラジルのサンパウロ神殿で結婚しました。

ソアレス長老姉妹とほんの数分時間を過ごすだけで、彼らのお互いへの愛と尊敬と賞賛の思いがすぐに見取れるでしょう。ソアレス長老にとって、ロサナは、「家族にとって善と愛の模範であり、全面的に主に献身することの模範です。」³ ソアレス姉妹にとって、ウリセスは「天からの贈り物」です。

ソアレス姉妹はこう続けます。「彼はいつでも責任感があって、義にかなっており、わたしたち家族の世話をよくしてくれ、いつもわたしにとっても良く接してくれます。すべての教会の責任において、彼は最善を尽くしてきました。出て行くのです。生活において、彼はいつも神を最優先させています。わたしは何度も彼にほれ直しています。それは彼がいつも神を第一にすれば、わたしのことも第一に考えてくれると知っているからです。」

ソアレス長老は妻についてこう述べています。「彼女はわたしたち家族の中で、真のヒーローであり、靈感を与えてくれます。彼女は愛にあふれ、親切で、だれに対しても忍耐をもって接します。わたしたち家族を一つにしてくれ、全ての

人の中に良いものを見いだしています。わたしの人生で起こった出来事に対して、彼女は大変大きな影響を与えてきました。十二使徒定員会への召しについて、冗談まじりにこう伝えました。『こうなったのは君のせいだよ。わたしの人生において福音の力を実に大いなるものとしてくれたのは君なんだから。』」

大きな心

ソアレス家の長男のグスタボは、フェスタ・ジュニーナと呼ばれる、サンパウロ周辺で毎年開かれる祭を見たくて、両親に反抗して家を抜け出した夜のことを覚えています。

「わたしは大勢の群集の中で楽しんでいると、司会の人がわたしを呼んで前に出てくるように言いました。そのときに父を見たんです。」

彼の両親は非常に心配していましたが、ウリセスはグスタボをしかることはせず、彼を強く抱き締めました。

「わたしが迷子になったことについて真剣な話し合いをしましたが、両親は敬意をもって接してくれました」とグスタボは述べます。「わたしは守られていると感じ、両親が自分をほんとうに愛していることが分かりました。」

ウリセスは家族のために献身的に努めています。長年多忙で出張の多い生活をしているにもかかわらず、子供との関係を築くための時間を作りました。

2018年3月31日にソアレス長老が十二使徒定員会の会員として支持されたとき、恐らくグスタボと彼の二人の姉妹、レスシア・カラベロとナタリア・ソアレス・アビラほど驚いた人はいなかったでしょう。それでも、もし愛と思いやり、勤勉さと謙遜さこそが使徒になるための条件だとすれば、彼らはなぜ自分たちの父親が召されたのか納得できると言います。

「イエスが使徒をお選びになられたとき、最も学識の高いパリサイ人ではなく、漁師を選ばれました」とレスシアは言います。「わたしの父と母もそうです。二人は完全に主を信頼していて、主は御心をかなえるために二人をお使いになられます。彼らが無私の心で勤勉に働く意欲を持っていて、正されても謙遜に受け入れることができると御存じだからです。」

父親がこれから主の特別な証人として仕える中で、彼の「大きな心」が助けとなるとナタリアは述べます。「父はそのような心を持っています。天からの影響を感じて、すべての人を愛し、正しいことを行いたいという思いを持っています。」





「万事うまくいきます」

ソアレス長老が2000年から2003年にポルトガルのポルト伝道部の伝道部長として奉仕していたとき、「Tudo vai dar certo (万事うまくいく)」という言葉をよく使うことで知られていました。

「ソアレス会長はそれをわたしたちに教えてくれました」と、彼の下で奉仕した宣教師の一人、タイ・ベネットは述べています。「彼は、主の望まれていることを行っていればすべてがうまくいくという信仰と、楽観的な視点を持って生活しています。」

ソアレス会長はまた、宣教師たちに「難しい」や、「不可能」などの言葉を使わないように教えてくれたと、別の宣教師、リチャード・シールズは述べています。「その代わりに『チャレンジ』という言葉を使っていました。その助言はわたしの人生に大きな影響を及ぼしました。物事を『難しい』とか『不可能だ』と言うのではなく、克服すべき『チャレンジ』だととらえるようになりました。」

そのような信仰や楽観的な見方は、楽な人生からはもたらされません。ソアレス長老姉妹は、必要なものを手に入れることができないこと、長時間にわたる仕事や勉強による疲労、健康上の問題、さらには流産や死産、そしてきょうだいや両親の死などがもたらす失望をよく知っています。

それでも、二人は人生の旅路を歩む中でソアレス長老の好きな聖句にある、「あなたは謙遜でありなさい。そうすれば、主なるあなたの神は手を引いてあなたを導き、あなたの祈りに答えを与えるであろう」という言葉を心から信じてきました。⁴

「チャレンジはわたしたちの成長の一部です」とソアレス長老は述べています。「しかし、苦しみのさなかでも忍耐強くあって、人生における困難な状況を乗り越えることを学び、忠実であり続ければ、主はそれを認めてくださり、主が約

束された祝福をわたしたちに与えてくださいます。」

そして、鉄の棒にしっかりとつかまっていれば、主は決してお見捨てにならないとソアレス長老は付け加えています。

「戒めと福音、聖典、そして主イエス・キリストに常にしっかりとつかまっていれば、人生の試練を乗り越える助けとなります」とソアレス長老は証します。「ひざまずいて祈るとき、主はわたしたちとともにおられ、導いてくださいます。どこへ行き、何をすべきか、靈感を与えてくださいます。従順で、自らへりくだるときに、主はわたしたちの祈りにこたえてくださるのです。」

献身的な使徒

ウリセス・ソアレス長老は能力と備えの人です。経営学修士の学位を含めて、彼が受けた教育は、ブラジルの多国籍企業の会計士および監査人として働くための備えとなりました。その経験は、教会の財務部で働くための備えとなり、財務部での経験は、31歳のときに教会における最年少の実務ディレクターの一人となる備えとなりました。さらにそれらの備えは、伝道部長としての奉仕、また2005年4月2日に中央幹部七十人としての召しにおいて助けとなりました。

2013年1月6日に七十人会長会に召される前に、ソアレス長老はブラジル地域会長会顧問、そして後に会長として、またアフリカ南東地域会長会の顧問として奉仕しました。そこでは、当時中央幹部七十人だったデール・G・レンランド長老の顧問として奉仕していました。現在、十二使徒定員会会員であるレンラ



ンド長老は、ソアレス長老とともに奉仕した期間は貴重なものだったと考えています。

「ソアレス長老は活気に満ちていて、強い意志のある献身的なイエス・キリストの使徒です」とレンランド長老は述べています。「彼以上に、自分が主の用向きを果たしていると敏感に感じている人はいないでしょう。何かをするように依頼されると、全力でそれに向かいます。」

レンランド長老は、ソアレス長老がアフリカの聖徒たちにすぐに「一目ぼれ」したと述べています。その地域でのソアレス長老の最初の割り当ての一つは、コンゴ共和国のカナンガでのス

ペルー(左)やガーナ(下)の聖徒たちの間でも、または彼が仕え、ミニスタリングを行ってきたほかの国々においても、ソアレス長老は「すぐに人々を愛することができる」と、クラウディオ・R・M・コスタ長老は述べています。



テーク大会を管理することでした。レンランド長老は述べています。「彼が戻ってきて、そこで出会った人々の善良さと彼らの献身について話し始めると、話が終わりませんでした。」

七十人會長会でソアレス長老と5年半奉仕したL・ホイットニー・クレイトン長老は、ソアレス長老は意見のまとめ役だと言います。「彼はよく聞いて、自分の考えを図ります。会議において注意深く発言し、みんなの意見が別々のソリストのようにではなく、一つのコーラスを奏でるかのようにまとめてくれます。」

ソアレス長老は謙遜しますが、ポルトガル語、英語、スペイン語、そしてフランス語で会話する

仕事や出張で長期にわたって多忙なスケジュールを抱えていても、ソアレス長老は常に妻と子供たち、そして孫たち(左下)のことを優先させる生活を送ってきました。またソアレス姉妹との時間を取って、料理の腕前も磨いてきました(いちばん左)。

ことができます。保つためには常に磨き続けることが必要とされるその賜物は、教会にとって祝福だとクレイトン長老は述べます。ソアレス長老は教会の大部分の会員に彼らの母国語で話すことができるのです。

「ウリセスは少年のころからリーダーでした」と、義理の兄であるクラウディオ・コスタ長老は述べます。「彼は賢く、とても能力があり、常に自分の最善を尽くす責任を感じています。周りの人々をすぐに愛することができます。彼は救い主の真の弟子としての心を持っていて、イエスがキリストであられるという確固とした証を持っています。彼を愛していますし、主の使徒として彼を支持できることに感謝しています。」

デビッド・A・ベドナー長老は、十二使徒定員会を代表してこう加えています。「ソアレス長老は純粋で、誠実な、救い主の純朴な弟子です。彼の顔つきに表れている光と穏やかな笑顔、丁寧なしぐさを通して、数え切れないほどの個人や家族が、もっと救い主に従い、主の福音の教えに添った生活をしたいという望みを持つことができましたが、これからもそうなるでしょう。」

現在の神権時代にあって、主はエドワード・パートリッジに次のように言われました。「これは、彼の心がわたしの前に清いからである。彼は心に偽りのない、昔のナタナエルのような。」⁵ ハイラム・スミスについては、「彼の心が高潔であるので、また彼がわたしの前に正しいことを愛するので、主なるわたしは彼を愛する」と主は言われました。⁶

ウリセス・ソアレスについても主は同様に言われることでしょう。■

注

- 1.ヨハネ1:47
- 2.ジェームズ・E・タルメージ『キリスト・イエス』253-254, 259 参照
- 3.「預言者は聖なる御霊の力によって語る」『リアホナ』2018年5月号, 122
- 4.教義と聖約112:10
- 5.教義と聖約41:11
- 6.教義と聖約124:15

すべてのビショップが

ワードの会員に
知ってほしいと思うこと

ビショップの職を務めていたときに
学んだ真理が8つあります。

マイケル・メイヤーズ

わたしには、ビショップとして奉仕する、すばらしい機会がありました。その間、一つ一つ挙げるができないほど多くの教訓を学びましたが、その中で普遍的な真理だと確信しているものが8つあります。この8つがすべての状況に当てはまるというわけではありませんが、ビショップならばだれでもワードの会員に知ってほしいと望む事柄を挙げてみようと思います。

1. ビショップは、ワードの全会員をほんとうに愛している。

ワードに対するビショップの愛は、天の御父とイエス・キリストがわたしたち一人一人に対して持ってられる愛と結びついています。聖餐会で会員たちを見渡すビショップには、それまでに経験したことがないような共感と思いやりの心があります。ビショップが立ち上がってワードの会員をいかに愛しているか述べる時、その気持ちは偽りのない、心からのものです。皆さんが思っている以上にビショップが皆さんを愛し、皆さんに関心を持ち、皆さんを心にかけていることを知ってください。



2. ビショップは、肉体面でも情緒面でも、霊的にも、会員たちの信仰と祈りに支えられている。

ビショップは際限ない時間を奉仕に費やします。日曜日には多くの時間を教会で過ごすことがしばしばあり、それに加えて週日の夜にも、仕事の後でワードの会員を訪問したり、面接したり、世話をしたりします。

ビショップが毎週これを行うことができるのは、ワードの会員たちの信仰と祈りに支えられているからです。わたしはビショップに召されたばかりのころ、「ビショップを祝福してください」と会員が祈るのを聞く度に、思わず涙がこぼれました。皆さんの信仰ある祈りはほんとうにこたえられて、ビショップは祈りに支えられ、祈りの力を感じます。主はこのような信仰に満ちた祈りにこたえて、教会のビショップの頭に祝福を注いでくださるのです。



3. ビショップは、召しを果たすのに力不足を痛感することがよくある(3, 4年たっても)。

召しを果たす「備え」がよくできていると感じているビショップに会うことはまれです。しかし、「主は御自身が召された者を、ふさわしくされる」ということを、わたしは確かに知っています。¹ ビショップは自分が召しにふさわしくなっていることが分かっているながらも、ビショップの

召しを立派に果たせるようには決してならないと感じて悩みます。必要なときに賢明な勧告を与え、人に不快な思いをさせず、御霊と波長を合わせるために最善を尽くしますが、それでも時には、召しの果たし方が主に受け入れられているのか不安になるのです。

4. ビショップがワードの会員に勧告を与えているとき、神の御霊はビショップを通して働くことができる。

ビショップの召しを終えて寂しく思うことの中でいちばん大きいものは何かと聞かれると、わたしは、ビショップの外套に伴う御霊の強い影響力だと答えます。愛する家族を亡くした人を慰めているときであろうと、不誠実な伴侶のことで悩む人と話しているときであろうと、悔い改めを人々に呼びかけているときであろうと、忠実なビショップに降る御霊は、神の御霊であり、啓示の霊なのです。

わたしは最近、かつて同じワードにいた人から個人的な問題で助けを求められました。彼女は新しいワードに移ったばかりで、初めて接するビショップのもとへ行って助言を求める必要があるかどうか確信がなかったのです。そこでわたしは、解任されて以来何度も話してきたことを、彼女にも言いました。それは、喜んで助けたい気持ちはあるけれども、ビショップが持つ鍵はもう自分にはなく、彼女に必要な助けを与えるにはその鍵が欠かせないということでした。わたしは、新しいビショップと話すよう彼女に勧めました。2週間後に聞くと、彼女は新しいビショップと会って話したと言っていました。ビショップは彼女の問題も、彼女を助ける方法も、すでに知っていたかのようにだったそうです。ビショップは確かに誤りを犯すかもしれませんが、主は彼に靈感を与え、彼を導き、彼の言葉を通して人々の生活を祝福されます。



5. ビショップは、人間であり、誤りを犯すことも間違ったことをすることもある。

ビショップも、つまるところ死すべき人間なのです。不完全な部分や弱さ、偏見もあり、自分自身の問題も抱えています。御霊はビショップの職を持つ人を召しにふさわしい者にしますが、それでもビショップは人間であり、わたしたち皆が直面する同じ問題と弱さの影響を受けます。

それが分かったからといって、ビショップの召しに対する敬意や、ビショップの勧告に耳を傾ける熱意を薄れさせてはなりません。ビショップは自分の弱さをよく知っていて、それを克服しようと努力していますし、少なくとも、ビショップとしての奉仕からはそれを締め出そうとしています。どんなに頑張っても、それでもビショップは、不完全な人間なのです。

6. ビショップは、ワードの会員に目をかけることも彼らに尽くすことも十分にできていないと感じている。

今日助けることのできた人や助けるべきであった人がほかにいたのではないかと、ビショップは毎日思います。わたしはすべての会員と定期的に話したいと思っていましたが、フルタイムで働いていましたし、家族もあれば青少年のプログラムもあり、わたしの助けを大いに必要としているワード会員も何人かいました。定期的にすべての会員と会う時間は、とにかくありませんでした。

それでもビショップとして、悩んでいる会員を訪問するよう御霊に促されることがありました。そして何度も、訪問すると開口一番に、「あなたが来ることは分かっていました」と言われたものです。感じる御霊は圧倒的に強く、その訪問が祈りに対する神の答えだと、相手もわたしも感じるのです。

わたしはまた、活発で「悩んでいない」会員から戸口で迎えられるときにも、いつも喜びを感じました。そのような善良な人たちは毎週教会に行き、忠実に召しを果たし、はたから見て目立つ問題もなく、神権指導者の訪問を定期的に受けることは通常ありません。彼らはビショップと一対一で話す機会があることに感謝しました。すべての皆さんに、こう申し上げたいと思います。「ありがとうございます。いつも最善を尽くしましょう。ビショップがあなたを愛していて、できればもっと訪問したいと思っていることを分かってください。」

7. あなたのビショップが実際に、ほんとうに、正直なところ必要としているのは、互いにミニスタリングをし合うことである。

わたしはビショップのとき、ワードのある会員が困っていると聞くと、必ずこう尋ねました。「ホームティーチャーと訪問教師はだれですか。」これは、その会員に必要な支援がそのときだけでなく長期にわたっても与えられるかどうか見当をつけるための一つの方法でした。ビショップは、ワードやステークのほかの会員からの助けなしに働くとしたら、手段が限られてしまいます。確かに困っている人を訪問することができますし、訪問するでしょう。しかし、神権者と扶助協会の力を活用できてこそ、ビショップは十分に手を差し伸べることができます。

これがミニスタリングなのです。なぜ互いにミニスタリングをし合わなければならないのかを忘れてしまう人が、時々います。「互に愛し合いなさい」と主は命じられました(ヨハネ13:34)。ワードの会員たちの生活に「もっと深くかかわる」ための靈感された方法として、ビショップがミニスタリングを活用することを、理解してください。



8. ビショップは、自分の羊の群れのためにできることは何でもしたいと思っている。

昼夜を問わずいつでも、ビショップは会員の必要とすることは何でもしたいと思っています。神権の祝福をし、反抗的な子供に勧告を与え、事故現場へ駆けつけるのです。いつでもすべてできるというわけではありませんし、すべての状況において最適な人物だというわけでもないかもしれませんが、必要なときには遠慮なくビショップに助けを求めてください。そのようなときに奉仕するためにビショップがいること、そして一緒に働いてともに豊かな祝福を受けるということを知っておいてください。

わたしは、この聖なる召しで奉仕する神聖な機会があったことで謙遜になりました。奉仕することによって、わたしの信仰は知識になりました。わたしはもはや福音が真実だと信じているのではありません。それが真実であることを知っているのです。神がわたしを御存じであることを、もはや信じているのではなく、神がわたしたち一人一人を限りなく御存じで、わたしたちの日々の生活も個人的な悩みも御存じであるということを、わたしは知っています。それだけではありません。神がその僕、特に神権の鍵を持つ者を通して働かれることを、わたしは知っているのです。わたしは、神がこの御業に心を砕いておられるのでなければ、自分がビショップとして奉仕することはできなかったことを知っています。すべてのビショップが奉仕できるのは、福音が真実であって、神が御自身の子供たちを愛しておられるからなのです。■

筆者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。

注

1. トーマス・S・モンソン「召しの義務」『聖徒の道』1996年7月号、52参照







第 8 章

キリストの教会の 幕開け

これは、『聖徒たち——末日におけるイエス・キリスト教会の物語』という、4巻にわたる新しい教会歴史物語の第8章です。この物語は14の言語で、印刷物および「福音ライブラリー」アプリの「Church History (教会歴史)」の項や、saints.lds.org/jpn で読むことができます。前の章は既刊号に掲載され、「福音ライブラリー」アプリと saints.lds.org にて、47の言語で読むことができます。

18 28年7月上旬、原稿を手にしたジョセフは、モルモン書を出版してそのメッセージをあまねく広めるよう主が望んでおられることを知っていましたが、出版業は、ジョセフにとってもジョセフの家族にとっても未知の領域でした。原稿を安全に保管し、印刷業者を見つけ、どうにかしてこの書物を人々のもとに届けなければなりません。新たな聖典の可能性について、進んで考えてくれる人のもとに届けるのです。

モルモン書のような長い本を出版するのは、安くないはずですが、翻訳を始めてからもジョセフの財政は苦しく、稼いだお金はすべて一家の生活費に消えました。両親についても同様でした。依然として貧しく、他人の土地を耕作していたのです。この計画の資金援助ができる唯一の友人は、マーティン・ハリスでした。

ジョセフは直ちに仕事に取り掛かります。翻訳を完了する前に、モルモン書の著作権を申請しました。原稿を盗難や盗用から守るためです。¹ またマーティンの支援を得て、ジョセフはモルモン書の出版に同意してくれる印刷業者を探し始めました。

二人はまず、パルマイラで印刷業を営む、ジョセフと同齢のエグバート・グランディンのもとを訪ねました。グランディンは即座に申し出を断ります。モルモン書は偽りの書だと思っていたのです。ジョセフとマーティンはそれでも引き下がらず、近隣の町でモルモン書を出版してくれる印刷業者を探し続け、ついに見つけました。ところが、その業者に仕事を委ねる前に、二人はパルマイラに戻り、モルモン書の出版を再びグランディンに持ちかけたのです。²

この度は、グランディンが計画に乗り気でした。しかし、5,000部の印刷代および製本代として、作業に着手する前に3,000ドルを支払うよう要求してきたのです。マーティンはすでに印刷代の支払いを援助すると約束していましたが、そのような金額が持ち上がると、自分の農場を抵当に入れなければならないかもしれないことに気づきました。それはマーティンにとって重い負担でしたが、ジョセフの友人の中にはその代金の支払

いを助けられる人がほかにいないことを承知していました。

困ったマーティンは、モルモン書の資金援助について不安を抱き始めます。マーティンは、その地域で最良の農場を所有していました。その土地を抵当に入れば、土地を失うことになるかもしれません。モルモン書の売れ行きが悪ければ、生涯をかけて築いてきた富を一瞬にして失いかねないのです。

マーティンはジョセフにこの悩みを打ち明け、自分のために啓示を受けてほしいと言いました。それにこたえて救い主は、どれほどの代価であろうと、御父の御心を行うために払った御自分の犠牲について話されました。そして、悔い改める人が皆赦されるように、罪の代価を払って受けられた究極の苦しみについて語られたのです。そのうえで、神の計画を遂行するために自分の利益を犠牲にするようマーティンに命じられます。

主は、「あなたは自分の財産をむさぼることなく……『モルモン書』を印刷するために惜しみなくそれを分け与えなさい」と言われました。その書物には神の真実の言葉が載っており、確かに人々が福音を信じる助けとなるものだと、主はマーティンに断言されたのです。³

隣人たちにはとうてい理解できない決断でしたが、マーティンは主に従い、支払いの保証として農場を抵当に入れました。⁴

グランディンは契約書に署名すると、巨大なプロジェクトを立ち上げました。⁵ ジョセフは、毎回一人の筆記者の助けを得ながら、3か月でモルモン書の文章を翻訳しました。590 ページにわたる初版の印刷と製本にはグランディンと10名ほどの男性が携わり、7か月を要するということでした。⁶

印刷業者との話がまとまると、ジョセフは1829年10月、ハーモニーに戻って自分の農場で働き、エマと過ごしました。一方、オリバー、マーティン、ハイラムが印刷作業を監督し、グランディンの進捗状況をジョセフへ定期的に報告することになりました。⁷

最初に翻訳した原稿を失ったときの絶望感が身に染みていたジョセフは、モルモン書の原稿を1ページごとに写して複本を作成し、印刷業者に持って行くようオリバーに頼み、

句読点の追加や植字ができるようにしました。⁸

オリバーはモルモン書を喜んで書き写しました。当時オリバーが書いた手紙は、モルモン書に出てくる言葉であふれていました。モルモン書に出てくるニーファイ、ヤコブ、アミュレクと同様、オリバーはキリストの無限の贖罪に対する感謝の思いをジョセフに綴っています。

「神の憐れみについて書き始めると、筆が止まりません。時間と紙が幾らあっても足りないのです。」⁹

その同じ精神は、印刷が進む中、ほかの人々をもモルモン書に惹きつけます。元印刷見習工のトーマス・マーシュは、居場所を求めて様々な教会を渡り歩きましたが、どれも聖書に見いだせる福音を教えているようには思えませんでした。

トーマスは、近い将来新たに教会が設立され、回復された真理を教えるだろうと確信していたのです。

その夏、トーマスは御霊に導かれ、ボストンの自宅から西方に何百キロも離れたニューヨークへと向かいました。家に戻る前、3か月そこにとどまりましたが、なぜこれほど遠くまでやってきたのか、彼には分かりませんでした。ところが、帰路に就く中立ち寄った宿の女主人から、ジョセフ・スミス「黄金の書」について聞いたことがあるかと尋ねられたのです。トーマスは聞いたことがない、と答えましたが、詳しく知りたくてたまらなくなりました。

女主人はトーマスに、パルマイラに行ってマーティン・ハリスと話すべきだと言います。トーマスは即座にパルマイラへ向かい、グランディンの印刷所でマーティンを見つけました。トーマスは、モルモン書の16ページを印刷工から譲り受けると、この新しい宗教のすばらしさを妻のエリザベスにも味わってもらいたいと心躍らせ、それをボストンに持ち帰ります。

そうしてエリザベスもそのページを読み、それが神の言葉であると確信したのでした。¹⁰

その秋、印刷工がモルモン書の出版に向けて着々と作業を進める中、アブナー・コールという名の元判事が、グランディンの印刷所で新聞の出版を始めました。夜、印刷所で作業をしていたアブナーは、グランディンの店員が家に帰ったすきに、未製本で出版できる段階にまで至っていないモ

ルモン書の数ページを手に入れてしまいました。

そのうちアブナーは自分の新聞の中で「黄金の聖書」をあざけり、その冬、モルモン書を抜粋したものに辛らつな論評を添えて出版します。¹¹

ハイラムとオリバーは、アブナーの行為を知って抗議しました。「モルモン書をこのような形で印刷するなんて、あなたには何の権利があるというのですか」とハイラムは詰め寄りました。「わたしたちが著作権を得ていることを御存じないのですか。」

アブナーは言います。「知ったことではない。わたしは印刷工を雇った。思いのままに印刷するまでだ。」

ハイラムはこう告げます。「あなたの新聞にあの書物の一部を印刷することを今後一切禁じる。」

「知るものか」とアブナーは言いました。

なす術もなく、ハイラムとオリバーがハーモニーにいるジョセフに報告をすると、ジョセフはバルマイラに飛んで帰ってきました。ジョセフは印刷所の事務所で、何食わぬ顔で自分の新聞を読んでいるアブナーを見つけます。

「お忙しそうですね。」ジョセフはそう話しかけます。

「初めまして、スミスさん」とアブナーは冷ややかに答えました。

ジョセフは言います。「コールさん、モルモン書とそれを出版する権限はわたしにあります。余計な手は出さないでいただきたい。」

するとアブナーはコート脱ぎ捨て、袖をまくりました。「一戦交えようじゃないか」と怒声を上げながら、両手の拳を合わせます。「戦うなら、来い。」

ジョセフは笑みを浮かべました。ジョセフは「コートを着た方がいいですよ。寒いですし、戦う気はありません」と言い、穏やかに続けました。「でも、わたしの書物を印刷するのはおやめください。」

アブナーは、「自分の方が強いと思うなら、コートを脱いでやってみろ」と言いました。

ジョセフは答えます。「法律というものがあるんです。御存じなければ、やがてお分かりになるでしょう。けんかはしません。何もよいことはないですから。」

アブナーは、自分が法律を破っていることを承知していました。気を落ち着いたアブナーは、モルモン書の抜粋を新聞に掲載するのをやめたのでした。¹²

ソロモン・チェンバレンという一人の説教者は、カナダへと向かう途中、バルマイラの宿で一緒になった家族から「黄金の聖書」について耳にします。トーマス・マーシュと同様、ソロモンはずっと教会を渡り歩いていましたが、そこで目にするものに満足することはありませんでした。一部の教会では福音の原則を教え、御霊の賜物があることも信じていましたが、神の預言者も神権も存在しませんでした。ソロモンは、主が御自分の教会を明らかにされるときの間もなく来ると感じていたのです。

ジョセフ・スミスと金版に関する話をその家族から聞くと、頭のとっぺんからつま先まで電流が走ったかのように感じ、スミス一家を見つけてその書物について詳しく聞くことにしました。

スミス家に向かったソロモンは、戸口でハイラムに会いました。「この家に平安がありますように」とソロモンは言いました。

ハイラムは「そう願います」と答えます。

ソロモンは、「この家には示現や啓示を信じている方がいらっしゃるでしょうか」と尋ねました。

ハイラムの返事はこうです。「はい、皆、示現を信じています。」

ソロモンはハイラムに、何年も前に見た示現について話しました。その示現の中で、地上に神の教会はないが、間もなく設立され、昔の使徒の教会のように力を持つ、と天使が告げたのです。ハイラムとスミス家の人々はソロモンの話を理解し、同じことを信じている、と言いました。

「皆さんが知ったことをぜひ教えていただきたいのですが」とソロモンが言うと、ハイラムは「そうしましょう」と言いました。

ハイラムはスミス家の農場に客人として滞在するようソロモンを招き、モルモン書の原稿を見せました。ソロモンは2日間それをよく調べると、ハイラムとともにグランディンの印刷所に行き、印刷工から印刷した64ページ分をもらいました。製本されていないページを手に、ソロモンはカナダへの旅を続け、その道すがら、この新たな信条について知り得たすべてのことを宣べ伝えたのでした。¹³

1830年3月26日までにはモルモン書の初版が製本され、グランディンの印刷所の一階で販売が始まりました。茶

入れなければならない。これらのことを行えば、地獄の門もあなたがたに打ち勝つことはないからである。」²³

その後、ジョセフは川のほとりに立ち、自分の母親と父親がバプテスマを受けて教会に加わるのを目にしました。真理を求めて何年もの間別々の道を歩んできた親子が、ついに同じ信仰で結ばれたのです。父親が水から上がると、ジョセフはその手を取って川岸に引き上げ、抱き締めました。

「わが神よ」と叫んで父の胸に顔をうずめると、こう言ったのです。「父がバプテスマを受けてイエス・キリストのまことの教会に加わるのを、わたしは生きて見たのです。」²⁴

その晩、ジョセフはそっと近くの森へ行きました。胸がいっぱいだったジョセフは、友人や家族の目につかない場所で、一人になりたいと思ったのです。最初の示現以来10年にわたって、ジョセフは天が開くのを目にし、神の御霊を感じ、天使たちから教えを受けてきました。また罪を犯し、賜物を失うこともありましたが、悔い改めて神の憐れみを受け、神の力と恵みによりモルモン書を翻訳したのです。

そして今、イエス・キリストは御自分の教会を回復し、古代の使徒たちが世に福音を携えて行ったときに保持していたのと同じ神権の権能を、ジョセフに授けてくださいました。²⁵ その喜びは溢れんばかりでした。その晩、ジョセフ・ナイトとオリバーがジョセフを見つけると、ジョセフは涙を流していました。

喜びに満たされていたのです。こうして御業が始まりました。²⁶ ■

注

引用元の文献の全リストは、saints.lds.org [英語] でご覧になれます。

「テーマ」という言葉が注釈にある場合は、追加情報がオンライン (saints.lds.org) に掲載されています。

1. Copyright for Book of Mormon, June 11, 1829, in *JSP*, D1 : 76 – 81
2. “Prospect of Peace with Utah,” *Albany Evening Journal*, May 19, 1858, [2] : “From the Troy Times,” *Albany Evening Journal*, May 21, 1858, [2] ; John H. Gilbert, Memorandum, Sept. 8, 1892, photocopy, Church History Library
3. 教義と聖約 19 章 (Revelation, circa Summer 1829, at josephsmithpapers.org) ; see also Historical Introduction to Revelation, circa Summer 1829 [DC 19] , in *JSP*, D1 : 85 – 89 ; and Knight, *Reminiscences*, 6 – 7
4. McBride, “Contributions of Martin Harris,” 1 – 9 ; Joseph Smith History, 1838 – 56, volume A-1, 34, in *JSP*, H1 : 352 (draft 2)
5. John H. Gilbert, Statement, Oct. 23, 1887, Church History Library ; Indenture, Martin Harris to Egbert B. Grandin, Wayne County, NY, Aug. 25, 1829, Wayne County, NY, Mortgage Records, volume 3, 325 – 26,

- microfilm 479, 556, U.S. and Canada Record Collection, Family History Library ; Historical Introduction to Revelation, circa Summer 1829 [DC 19] , in *JSP*, D1 : 85 – 89
6. Copyright for Book of Mormon, June 11, 1829, in *JSP*, D1 : 76 – 81 ; John H. Gilbert, Memorandum, Sept. 8, 1892, photocopy, Church History Library ; Porter, “The Book of Mormon,” 53 – 54
7. John H. Gilbert, Memorandum, Sept. 8, 1892, photocopy, Church History Library ; Lucy Mack Smith, History, 1844 – 45, book 9, [8] ; Joseph Smith to Oliver Cowdery, Oct. 22, 1829, in *JSP*, D1 : 94–97
8. John H. Gilbert, Memorandum, Sept. 8, 1892, photocopy, Church History Library ; Lucy Mack Smith, History, 1844 – 45, book 9, [2] : “Printer’s Manuscript of the Book of Mormon,” in *JSP*, R3, Part 1 : xxvi テーマ : モルモン書の印刷と出版
9. Oliver Cowdery to Joseph Smith, Nov. 6, 1829, in *JSP*, D1 : 100–101 : モーサヤ 3 : 18 – 19, 5 : 5 – 7, 4 ニーフアイ 1 : 17 ; see also Oliver Cowdery to Joseph Smith, Dec. 28, 1829, in *JSP*, D1 : 101 – 4
10. Thomas B. Marsh, “History of Thomas Baldwin Marsh,” *LDS Millennial Star*, June 4, 1864, 26 : 359 – 60 ; June 11, 1864, 26 : 375 – 76
11. Lucy Mack Smith, History, 1844 – 45, book 9, [9] アブナー・コールが出版したモルモン書の抜粋の一例については以下を参照。“The Book of Mormon,” *Reflector*, Sept. 16, 1829, 10 : “Selected Items,” *Reflector*, Sept. 23, 1829, 14 : “The First Book of Nephi,” *Reflector*, Jan. 2, 1830, 1 ; and “The First Book of Nephi,” *Reflector*, Jan. 13, 1830, 1 テーマ : モルモン書に対する批判
12. Lucy Mack Smith, History, 1844 – 45, book 9, [9] – [12] ; Lucy Mack Smith, History, 1845, 166 – 68
13. Chamberlin, *Autobiography*, 4 – 11
14. Copyright for Book of Mormon, June 11, 1829, in *JSP*, D1 : 76 – 81 ; John H. Gilbert, Memorandum, Sept. 8, 1892, photocopy, Church History Library ; “Book of Mormon,” *Wayne Sentinel*, Mar. 26, 1830, [3] 羊皮で製本された本もあった
15. Title Page of Book of Mormon, circa early June 1829, in *JSP*, D1 : 63 – 65 ; see also Lucy Mack Smith to Solomon Mack, Jan. 6, 1831, Church History Library
16. Testimony of Three Witnesses, Late June 1829, in *JSP*, D1 : 378 – 82 ; Testimony of Eight Witnesses, Late June 1829, in *JSP*, D1 : 385 – 87
17. Tucker, *Origin, Rise, and Progress of Mormonism*, 60 – 61
18. See Lucy Mack Smith to Solomon Mack, Jan. 6, 1831, Church History Library
19. Joseph Smith History, circa Summer 1832, 1, in *JSP*, H1 : 10 ; 教義と聖約 27 : 12 – 13 (Revelation, circa Aug. 1830, in Doctrine and Covenants 50 : 3, 1835 edition, at josephsmithpapers.org) ; Oliver Cowdery to Phineas Young, Mar. 23, 1846, Church History Library ; “Joseph Smith Documents Dating through June 1831,” in *JSP*, D1 : xxxvii–xxxix ; see also Cannon and others, “Priesthood Restoration Documents,” 163 – 207 テーマ : メルキゼデク神権の回復
20. Joseph Smith History, 1838 – 56, volume A-1, 27, in *JSP*, H1 : 326–28 (draft 2)
21. Joseph Smith History, 1838–56, volume A-1, 37, in *JSP*, H1 : 364 (draft 2) ; Stevenson, *Journal*, Dec. 22, 1877 ; Jan. 2, 1887 ; An Act to Provide for the Incorporation of Religious Societies (Apr. 5, 1813), *Laws of the State of New-York* (1813), 2 : 212 – 19 テーマ : キリストの教会の設立集会
22. Joseph Smith History, 1838 – 56, volume A-1, 37 – 38, in *JSP*, H1 : 364 – 71 (draft 2)
23. Joseph Smith History, 1838 – 56, volume A-1, 37, in *JSP*, H1 : 366 ; 教義と聖約 21 章 (Revelation, Apr. 6, 1830, at josephsmithpapers.org) : “History of Joseph Smith,” *Times and Seasons*, Oct. 1, 1842, 3 : 928 – 29
24. Lucy Mack Smith, History, 1844 – 45, book 9, [12] ; Knight, *Reminiscences*, 8 ; see also Bushman, *Rough Stone Rolling*, 110
25. Joseph Smith History, 1838–56, volume A-1, 38, in *JSP*, H1 : 372 (draft 2) ; Joseph Smith, “Latter Day Saints,” in Rupp, *He Pasa Ekklesia*, 404 – 5, in *JSP*, H1 : 506
26. Knight, *Reminiscences*, 7



十二使徒定員会
クエンティン・L・
クック長老

どれほど憐れみを 主がかけてこられたか

新しい教会歴史シリーズは、救い主が行われた多くのことを記憶にとどめ、聖約を守るための助けとなります。

ほ ぼ 100 年ぶりに、新しい教会歴史シリーズが、大管長会と十二使徒定員会の指示の下で発行されます。『聖徒たち —— 末日におけるイエス・キリスト教会の物語』というこの歴史物語は、イエス・キリストの贖罪によって聖徒となった普通の人々の実話を伝えています (モーサヤ 3:19 参照)。第 1 巻『真理の旗, 1815 - 1846 年』はすでに完成しており、世界の多くの地域に配布するために 14 の言語で翻訳されています。

『聖徒たち』は、神が御自分の子供たちを愛しておられ、どのように永遠の聖約を回復されたかという物語です。それは、混乱と試練、苦難の時代に主がどのようにして福音を回復し、希望と平安をお与えになったかを示しています。また、回復された聖約がイエス・キリストを通じてどのように人を昇栄に導くかも示しています。

読者は物語がジョセフ・スミスから始まると思うかもしれませんが、『聖徒たち』は、広い範囲にわたって死と病気、破壊をもたらすことになった、1815 年のインドネシアにおける火山の爆発から始まります。この時点から書き始めることは、主が聖約を回復する方法について何を啓示されたかということを考えて決められました。聖約はわたしたちを救い主とつなぐものであり、聖約によって、わたしたちは人生のすべての問題を克服できるようになります。

「主なるわたしは、地に住む者に下る災いを知っているので、わたしの僕ジョセフ・スミス・ジュニアを訪れ、彼に天から語り、戒めを与えた。……

わたしの永遠の聖約が確立されるため〔である。〕」(教義と聖約 1:17, 22)



SANTOS

1815-1846

EL
ESTANDARTE
DE LA VERDAD

預言者を通して、神は、数々の聖約を
更新されました。

その聖約は、悪や悲しみ、苦しみ、
死による別離を取り除くものではなく、
救い主の贖罪による癒しを約束し、
そしてわたしたちの関係を
永遠に継続するものにできるという
確信を与えます。

その冒頭の出来事から全世界への
配布に至るまで、『聖徒たち』は、彼ら
の苦難を御存じである神との聖約の
物語であるということ、あらゆる地
に住む神の子供たちに示しています。
預言者を通して、神は、数々の聖約を
更新されました。その聖約は、悪や
悲しみ、苦しみ、死による別離を取り
除くものではなく、救い主の贖罪によ
る癒しを約束し、わたしたちの人生を
聖め、人生に非常に大きな意義を与
え、またわたしたちがこの地上で大
切にしている関係を「永遠の栄光が
伴う」永遠に継続するものにでき
るという確信を与えます（教義と聖約
130：2 参照）。

『真理の旗』の最初の8章は、年間
を通してこの機関誌に掲載されてきました。今月号で『聖徒
たち』からの抜粋の連載は終了しますが、saints.lds.org や
「福音ライブラリー」アプリへの掲載は継続され、印刷版
（store.lds.org で注文可能—日本語版ウェブサイトからの
注文可能時期は未定）で読むこともできます。上記のいず
れかの方法で引き続き、お読みになるようお勧めします。

神の方式と計画

『聖徒たち』には、人が自分は何者であるかを学び、人生
における神の目的を知ることができるようにするために、預
言者たちが、教導の業の一部として過去の出来事を用いる



という神の方式に従う様子が次々に出てきます。聖文では、
多くの預言者が、先祖に示された主の憐れみの話をまず詳
しく述べてから、次に自分の教えを述べています。¹ モロナイ
は、モルモン書の読者にこう勧めています。「主が〔歴史を
通して〕どれほど憐れみをかけてこられたかを思い起こし、
それを心の中で深く考えてほしい。」（モロナイ 10：3）神の
慈しみについて深く考えることは、わたしたちが「現在のこ
とをありのままに〔教え〕、未来のこともまた、ありのままに」
教える御霊の証を受ける備えとなります（モルモン書ヤコブ
4：13。モロナイ 10：4－5 も参照）。

天の両親がわたしたちの究極の幸福と昇栄のために計画

を立てられたと知ることによって、将来を見通し、神聖な両親から愛されている子供であることを認識し、逆境の時であっても主への信頼を増すことができます。また、主の慈しみを心に留めることによって、高慢や、繁栄のもたらす様々な危険から守られます。モルモンは、ニーファイ人が「大変豊かになった」時代について書いています。しかし、このときは民が高慢と富のために没落するに至ったモルモン書のほかの時代とは違い、人々は異なる道を歩きました。「彼らは、富と力と繁栄を得たにもかかわらず、高慢な目をもって高ぶることなく、主なる神を忘れることもなく、主の前に深くへりくだった」のです。「彼らは、主が自分たちのためにどれほど大いなることを行ってくださったかを忘れず」に聖約を守り、義にかなった状態を保ちました（アルマ 62：48 - 50 参照）。

『聖徒たち』は、このような教訓と、さらに多くのことを教えてくれます。主を愛した不完全な人々と主の愛を感じた不完全な人々の信仰の試練、心痛や喜び、啓示と決意を追体験するとき、皆さんは自分の人生に差し伸べられる主の御手を知ることができるようになるでしょう。

皆さんはこの実話を読むとき、以前に聞いたことのある話であっても、新たな見識を得、新たな意義を見いだすことでしょう。教会歴史の中の出来事でジョセフ・スミス最初の示現ほどよく知られているものはありません。しかし、『聖徒たち』を読むと、ジョセフが心を感じたことと頭で考えたことを調和させるためにどれほど苦勞をしたかが、さらによく理解できるようになります。

救い主の赦しを感じたいというジョセフの心からの望みはかなえられていませんでした。ジョセフが述べているように、既存の教会はどれも「新約聖書に記されているイエス・キリストの福音」を教えていなかったからです。² ジョセフは心の中で、どの教会が正しいのだろうか、それともことごとく間違っているのだろうかと思案しました。そして、正しい教会が一つあって、求めている平安を見いだせるようにと、心の内で切に願いました。頭で考えていることと感情が一致しないまま、ジョセフは、神に尋ね求めることができるということを知りました。そこで、祈るために森へ行きま

した。するとそこで御父と御子にまみえて、罪の赦しを得、かつて想像したことのない方法で疑問が解けたのです。³

ジョセフと家族、また主の回復された聖約を受け入れたほかの多くの人々は、自分に対する神の愛を感じ、主にさらに近づく方法を学び、愛する人々との関係を修復したいと思いました。『聖徒たち』には、そのような人々の話が載っています。

試練の時に主に頼る

『聖徒たち』の第1巻には、主の戒めに従い、主の御心を行なったアマンド・バーネス・スミスとその家族の痛ましい話



主の計らいを知ることによって、わたしたちは永遠の観点から物事を見ることができるようになり、現在のことや将来のことをありのままに見られるようになり、苦難の時期を乗り切れるように主が助けてくださるという信仰を働かせることができるようになるということが、『聖徒たち』を読むと分かります。

が載っています。⁴ アマンダの夫と息子の一人が、ミズーリ州ショールクリークで小さな開拓地に野営していたほかの15人の末日聖徒とともに殺されました。主はつらい経験の中でアマンダを支え、彼女の祈りにこたえ、勇気を与え、彼女が深い傷を負った息子を癒すことができるようにされたのです。⁵

『聖徒たち』には、アマンダがひどい逆境を通じてどのように主を信頼することを学んだかが記されています。また、ジョセフ・スミスが苦難の時期でさえ神の慈しみについて学んだことを教えてくれます。さらに、主の計らいを知ることによって、わたしたちは永遠の観点から物事を見ることができるようになり、現在のことや未来のことをありのままに見られるようになり、苦難の時期を乗り切れるように主が助けてくださるという信仰を働かせることができるようになるということが、これを読むと分かります。

預言者ジョセフは、ショールクリークでアマンダの家族とほかの人々に起こった出来事を知ったとき、聖徒たちが虐殺されるくらいなら自分が投獄されるか殺される方がよいと思いました。そこで翌日、ジョセフは、ファーウェストの聖徒たちの主要な開拓地を攻撃しようとしていたミズーリ州の民兵と交渉して、平和的解決を図ろうとしました。ところが、ジョセフは捕らえられ、拘留されたのです。

その後5か月近く、ジョセフは拘留され、ミズーリ州リバティーで冷たく窮屈な地下牢に閉じ込められました。彼は、神がどこに隠れておられ、どれほど長くやめと孤児の叫び



を聞くことに耐えることができになるのか知りたいと思い、こう祈りました。「おお、主よ、彼らがどれほど長くこれらの不当な扱いと不法な虐げを受ければ、あなたの心は彼らに和らぎ、あなたの胸は彼らに対する哀れみの情に動かされるのですか。」(教義と聖約 121:3)

『聖徒たち』は、逆境は主から嫌われていることの証拠でもなければ、主の祝福が取り上げられていることでもないということを教えてくれます。反対のものがあることは、わたしたちを精錬し、永遠の日の栄えに至る備えをさせてくれる神の計画の一部なのです(2ニーファイ2:11参照)。救い

主は無限の苦しみを経験したために、わたしたちが苦しむときにわたしたちを助け、最終的にわたしたちに昇栄を得させることができになるということをジョセフは学んだのでした。(アルマ7:11-13 参照) ジョセフの苦悶の叫びに応じて、主はあらゆる種類の試練を挙げると、最後に次のように述べられました。

「たとえ地獄の入り口が大口を開けてあなたをのみ込もうとしても、息子よ、あなたはこのことを知りなさい。すなわち、これらのことはすべて、あなたに経験を与え、あなたの益となるであろう。

人の子はこれらすべての下に身を落とした。あなたは人の子よりも大いなる者であろうか。」(教義と聖約122:7-8)

これらのことを自ら経験することで、わたしたちは、キリストのように、苦難を受けている人の気持ちが分かるようになります。「わたしの心はかつてなかったほどに感じやすくなっているようです」と、ジョセフは獄中で実感したことを書いています。そして、聖徒たちと一緒にいて彼らを慰め、元気づけることができたらよいのにと思いました。また、「もしこれまでの不当な扱いを受けてこなかったとしたら、今感じているように感じることは決してなかったと思います」と述べています。⁶

大管長会と十二使徒定員会が『聖徒たち』の作成を委託し、承認した理由の一つは、ほかの人々の話を読むと、わたしたち一人一人がこれらのことを追体験できるからです。わたしたちはアマングの経験から、神は、その無限の知恵によって悪や苦しみを阻止なさらないことがあるとも、わたしたちを愛し、わたしたちを心に留めてくださっていることを学ぶことができます。神はわたしたちの祈りを聞いておられ、憐れみ深く、思いやりの深い御方です。

回復された神殿の祝福

神殿以上に神の憐れみと思いやりが示される場所はありません。基本的に、『聖徒たち』は、回復された神殿の祝福の話です。第1巻は、1846年に数千人の末日聖徒がノーブー神殿で神聖な儀式を受ける話で終わります。第2巻の最後は、1893年のソルトレーク神殿の奉獻とそこで聖徒たちが儀式を受け始めるという話です。第3巻は、1955年にヨーロッパの聖徒たちがスイスにある神殿への集合を始める話で終わります。第4巻では、昔、預言者たちが思い描いていたように、

神殿が地上の方々に点在し、全地の聖徒たちが皆昇栄の儀式を受ける、現在に至るまでの話が採り上げられます。

主の宮で、わたしたちは聖約を交わして、現世における悪と苦しみなど、アダムの墮落の影響に打ち勝つ力を授けられます。わたしたちは、守りを受け、最終的に、愛する人々と永遠に結び固められて、復活のときに出て来る力を授かるのです。

『聖徒たち』は、聖餐式のように、大切な事柄を心に留められるようにすることによって、わたしたちが聖約を守るように助けてくれますし、救い主がわたしたちのために行ってくださいったことをいつも思い起こすのに役立ちます。過去の神の計らいの記録がなければ、わたしたちは、「主が人の子らにどれほど憐れみをかけてこられたかを思い起こすことはできなかったでしょう(モロナイ10:3)。以上の理由で、わたしたちは、主に恩を受け、また主の愛を味わった経験を記録に残してくれた聖徒たちから恩を受けています。主は、経験したことを記録するようにジョセフ・スミスに命じられ(教義と聖約21:1 参照)、またジョセフの指示の下で働いている教会歴史記録者に「教会の記録と歴史を絶えず書き残す」ように命じられました(教義と聖約47:3)。そして、「教会のためになる、また……後の世代のためになる、すべての事柄」を歴史に書き残すようにと命じておられます(教義と聖約69:8)。

大管長会と十二使徒定員会は、これらの啓示と、いつも救い主を覚えると約束している聖約について考え、10年前に『聖徒たち』の構想を立て始めました。そこで今、わたしたちは皆さんにお勧めします。神の計画を理解し、主がどれほど憐れみをかけてこられたかを知り、良いときであっても悪いときであっても常に忠実に堪え忍び、ほかの人々に対してキリストのような気持ちで接し、自分を昇栄に導く聖約を守るのに役立つという確信を持って、これを読んでくださいますように。■

注

1. ニーフアイ(1ニーフアイ17:23-43)、ベニヤミン王(モーサヤ1章)、リムハイ(モーサヤ7章)、アルマを訪れた主の天使(モーサヤ27章)、アルマ(アルマ9:10)、モルモン(モルモン3:17-22)、モーセ(出エジプト13:3)などがその例である。
2. Joseph Smith, in "History, circa Summer 1832," 2, josephsmithpapers.org.
3. See "History, 1838-1856, volume A-1 [23 December 1805-30 August 1834]," 3, josephsmithpapers.org.
4. See "Revelation, 12 January 1838-C," [1], josephsmithpapers.org.
5. See *Saints*, volume 1, chapter 30, "Fight Like Angels."
6. "Letter to Presendia Huntington Buell, 15 March 1839," [1], josephsmithpapers.org.

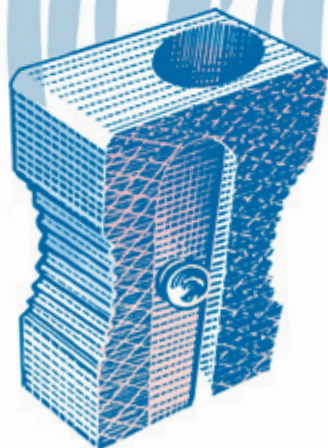
卵とヒューズと信仰

わ たしたち家族の目標の一つは、家の頭金に十分な貯金をすることです。その目標がなかったら、わたしは経済的なチャンスがやって来るのを待ちながらテレビを見て、週末の時間を無駄に過ごしたかもしれません。

チリ北部の採掘会社の運転手として働くわたしは、週4日家を離れて鉱山で過ごし、土曜から月曜までの3日間は休日です。収入を増やし、家の購入資金を貯めるため、わたしたちは卵の販売を始めることにしました。友人、近所の人、教員から注文を受け、卸業者から毎週1,000個ほど卵を買い付け、土曜日と月曜日に取りに行って届ける計画を立てました。

妻のラウラとわたしは配達に二人の子供を連れて行き、一緒に楽しく過ごすことにしました。ところが、1回目の卵の仕入れに行く途中で災難が起きました。子供の一人が小さな金属製の鉛筆削りで遊んでいたのですが、鉛筆削りを放り投げたところ、開いていたシガーソケットの中にすっぽり入ってしまいました。火花が飛び散り、我が家のワゴン車は電力をすべて失い、高速道路の真ん中で急停止しました。ヒューズが飛んでしまったのです。

交通渋滞を招き、あたふたしているうちに、心がくじけて泣き出したい気持ち



小 さな金属製の鉛筆削りが開いていたシガーソケットにちょうど入ってしまい、我が家のワゴン車は急停止しました。ヒューズが飛んでしまったのです。

になりました。しかしそのとき、主を信頼するなら、主はわたしたちを助けると約束されたことを思い出しました。心は穏やかになり、ただ座って文句を言うだけではだめだと気づきました。問題があっても、神の助けがあれば解決できるのです。

ラウラとわたしは向き合い、「信仰を示さなければ」と言いました。祈りをさ

さげ、涙をふきました。そして、ラウラが運転席に座ってハンドルを握り、わたしは車を降りて押し始めました。何人かが自分の車を降りて助けてくれました。

200メートルほど車を押して、ようやく高速道路のわきに安全に停車できる場所を見つけました。車を停止させたとき、カステレオの店が目の前にあることに気づきました。

わたしは飛んでしまったヒューズを取り出し、店に入って「これと同じものがありますか」と聞きました。

店員は「もちろんありますよ」と言いました。

ヒューズを買って取り付けるとすぐに車のエンジンがかかり、わたしたちは出発しました。到着したとき、卵の卸業者はちょうど閉店するところでした。わたしたちは卵を仕入れて配達しました。

困難な状況にあるとき、天の御父に助けを祈り求めるのを忘れてはなりません。わたしたちが前進し、主を信じる信仰を示すなら、祈りにこたえてくださることを知っています。■

アルバロ・アルカイノ(チリ、アントファガスタ)

母の手書きのメモから得た祝福

ある晩、わたしは近々開かれることになっていたワード大会でどのようなメッセージを伝えるべきか思い巡らしていました。その週ずっと聖文を研究し、すばらしい教えや洞察を得られたものの、主がステーキ会長であるわたしに、ワードの会員と何を分かち合うように望んでおられるのか、考えがまとまりませんでした。

わたしは心から祈り、考えをまとめるうえで御霊の導きがあるよう願い求めました。そして聖典を開き、再度読み始めました。するとすぐ、最近ビショップと話し合ったワードの目標のことを思い出したのです。友人や隣人に福音を分かち合うために『わたしの福音を宣べ伝えなさい』を活用することが目標の一つにありました。

その晩の聖文学習に、『わたしの福音を宣べ伝えなさい』を加える必要があると感じました。手に取って何げなく開いてみると、そこには、二つの参照聖句が書き込まれていました。第1ニーファイ8章8節から11節と、11章21節から22節です。よく見ると、それは母が書き込んだものでした。母は優しい人で、数年前にすでに他界していました。80歳の誕生日を迎えた2か月後のことでした。まさに勇気と無私の模範で、常に人の良いと

ころを見ていました。そして聖典を愛していました。

母がどんな促しを受けてこの書き込みをしたのかを知るため、参照聖句を開きました。読んでいるとすぐに、ワード大会で伝えるべきメッセージが思い浮かびました。福音のおいしい実を味わった教会員は、ほかの多くの人がある実を求めていることを忘れてしまいがちであるという、簡単なメッセージです。わたしたちは手を差し伸べ、どこでその実を見つけられるかを人々に伝える必要があります。

『わたしの福音を宣べ伝えなさい』をさらに読み進めながら、優しい

母のことを思い浮かべました。本にはそれが母のものであったことを示す名前やメモの書き込みはほかに見つかりませんでした。この瞬間にたどり着くまでの一連の霊的な促しを思い浮かべ、わたしはじっと畏敬の念を抱いていました。祈り求めた導きが授けられてきたことについて、御霊による確認を受けました。何年も前に参照聖句を書き込んだ母は、息子のささやかな祈りにこたえるために主がそれを用いられることなど知る由もなかったでしょう。■

ダグラス・ヘッジャー
(アメリカ合衆国、ネバダ州)

ワード大会の準備を
しているときに

『わたしの福音を宣べ伝えなさい』を開くと、そこには母が書き込んだメモが残されていました。



キエフの主の宮での奇跡

わたしと家族は胸を高鳴らせながらルーマニアからウクライナのキエフに向けて車を走らせていました。2010年8月に行われる神殿の奉献式に出席するためでした。ルーマニア・モルドバ伝道部の聖徒が参入する神殿であると知っていたので、奉献式のためだけに14時間ほどかけて旅しました。現地に到着すると、同じようにルーマニアからやって来た別のグループと出会いました。わたしたちは皆、その神聖な行事のためにキエフにすることができて喜んでいました。

奉献式の日、ルーマニアから来たわたしたちは神殿の1階の部屋でモニターを通して奉献式を見ることになりました。何人かが落胆の声を発し始めました。彼らは日の栄えの部屋で預言者とともに奉献式に参列することを願っていました。こんなことなら、地元のルーマニアにとどまって、礼拝堂で中継を通して視聴すればよかったと言う人さえいました。

わたしは心の中で祈り始めました。「天のお父様、ルーマニアから来た会員たちがあなたの宮で忘れられない

経験をするにはどのようにすればよいでしょうか。」

答えをまだ受けないうちに奉献式が始まりました。間もなくして、預言者トーマス・S・モンソン大管長（1927-2018年）が下りて来て、礎石を据えることが分かりました。もしかしたらそれが答えなのかもしれません。わたしは預言者が来て、ルーマニアの聖徒たちを歓迎してくれる方法が見つかるよう祈り求めました。

「わたしのためではなく、わたしの兄弟姉妹のためにお願いします」と祈



りました。

定礎式の後、モンソン大管長は日の栄えの部屋へ戻る際にわたしたちのいる部屋のそばを歩いて行きました。突然、立ち上がって大管長を部屋に招き入れるべきだという促しを感じました。

わたしは立ち上がって言いました。「愛する預言者！どうぞこちらへ来てください。わたしたちはルーマニアから来ました。」

わたしの声は届いていないようでした。しかし、次の瞬間、大管長は引き返し、「ルーマニア！」と言いながら部屋に入って来ました。

大管長はわたしたち全員とあいさつを交わし、心から愛していることを伝えてくれました。感激している会員たちの表情を見て、わたしの胸はいっぱいになりました。「愛するお父様、あなたの宮でこの奇跡を与えてくださり、

わたしは心の中で祈り始めました。「天のお父様、ルーマニアから来た会員たちがあなたの宮で忘れられない経験をするにはどのようにすればよいでしょうか。」

ありがとうございます」とわたしは祈りました。

預言者が部屋を出て行くとき、もう悲しんでいる人はだれもいませんでした。自分たちは神殿の中で最も祝福された部屋にいたと思いました。それはいつまでも決して忘れない経験となりました。■

ドル・バシレ (ルーマニア、ブカレスト)

ほほえみ —— 主に受け入れ られたしるし

ある晩、わたしたちのワードで、何時間もかけて準備してきた活動が開かれました。活動の後で、若い求道者があいさつして帰って行きましたが、数分後に戻って来るとう聞ききました。「ビショップ、次はいつ来たらいいですか。」「日曜日」と答えると、少年はすかさず「そうではなくて、ほかの活動はないんでしょうか」と聞いてきました。ワードの青少年とほんとうに楽しく過ごした彼は、また来たいと思ったのです。

わたしは活動に参加してくれたあるご夫婦とも話し、どう感じたか聞いてみました。「ここに来てから、ずっと平安で穏やかな気分です」というご主人の答えに、奥さんもうなずいていました。これを聞いてわたしは驚きました。彼らが到着したとき、たくさんの人が会話していて、騒がしかったからです。彼はわたしを見ると、続けて次のように聞いてきました。「それが聖霊なんですよ。」わたしは驚いて「そうです」としか言えませんでした。

この活動の準備にたくさんのごんやしていたわたしは、その晩、すべてが終わると、ただ家に帰って眠りたいと考えていました。あまりに疲れていたので、求道者との会話を振り返ってよく考えることもできませんでした。家に着き、祈りをささげてベッドに入りましたが、眠れませんでした。心の中に、主がほほえんでおられる様子が浮かびました。それは主が受け入れてくださっていることを示すほほえみでした。そのとき活動で起きたすばらしい出来事の数々が思い浮かんできました。

ワードの会員の熱意と愛のおかげで、あの3人の求道者の心に触れられたのだということをわたしは理解しました。そして、そのほほえみはわたしたちの行いが受け入れられていることを示すしるしなのだというのも。わたしは涙をこらえ切れず、主が下さった贈り物にただ感謝しました。主は受け入れてくださっていることを、ほほえみによって示されたのです。主のもとに一人でも導くことができれば、御父の王国でわたしたちの喜びは大きいという主の言葉が真実であることを証します (教義と聖約 18 : 15 参照)。■
フランクリン・ロメロ (エクアドル、マナビ県)

あなたの経験談を聞かせてください

「末日聖徒の声」は福音に関するあらゆるテーマで実話を掲載します。特にあなたが人々に仕えた経験、または勇気をもって福音に沿った行動をした経験をお待ちしています。 liahona.lds.org にアクセスして原稿をお送りください (「投稿する」をクリックしてください)。



「ひどい言葉」というものは
今も変わらず存在します。
しかし、
どんな疑いや不安があっても
信仰を選ぶという
選択肢はいつもあります。

福音に従って 生活する動機

教会機関誌
ミンディー・セル

弟子として歩む道は、それが「目に見える〔もの〕か否かにかかわらず」祝福にあふれています。¹しかし、祝福があるにもかかわらず、その道を歩むことが容易でなかったり、都合が悪かったりするときがあります。イエス・キリストの弟子となるには努力と犠牲が必要で、時には戒めに従って生活し、犠牲を払いたいという思いを持つことが難しいこともあります。

ヤングアダルトの皆さんはこれに加えて、新しい責任をこなし、人生の重大な決定を下し、残りの人生において弟子として歩み続ける道がどのようなものになっていくのかも見極めようと忙しくしていることでしょう。そのうえ、教会の方針や歴史、福音の教義の中でまだよく理解していないことや退けることが困難な誘惑もあることでしょう。まだ受けていない祝福を待ちわびていたり、神は自分のためにどんな計画を用意されているのか疑問に思ったりしているかもしれません。

福音に従って生活することは、約束された祝福に見合うだけの価値があるだろうかと思う人もいるかもしれません。「なじめない」、「することが多すぎる」、「答えよりも質問の方が多そうだ」と思えることもあるでしょう。しかし、結局のところ、すべては動機にかかっているのです。どうしてあなたはそのように行動し、そのように生きているのでしょうか。たとえ周りのだれかが気づかなくても、戒めを守り続けているのはなぜでしょうか。

あなたが何者であって、人生のどの段階にいるかにかかわらず、救い主とその福音に対する信仰を培うことで動機を見つけることを選ぶかどうかは、あなた次第です。



わたしたちは、だれのところに行きましょう

福音に添った生活をする意欲を見つけ、保つことは、決して現代特有の問題ではありません。救い主が地上におられた時代でさえ、主から教えられた原則を人々が理解し、それに従うことは困難でした。主の弟子の数人は、主が「命のパン」としての御自分の役割を説明されているときにそれを聞いて、気分を害した様子で（ヨハネ 6：35 – 58 参照）、不信感からこのように返しました。「これは、ひどい言葉だ。だれがそんなことを聞いておられようか。」（ヨハネ 6：60）。

彼らにとって教義を信じ、受け入れることが困難な姿を見て、キリストはこう聞かれました。「このことがあなたがたのつまずきになるのか。」（ヨハネ 6：61）。疑いの前に信仰を持つのではなく、多くの主の弟子は「去って行って、もはやイエスと行動を共にし【ませんでした】。」（ヨハネ 6：66）

しかし、キリストは残りの弟子たちに、「あなたがたも去ろうとするのか」と尋ねられ、ペテロはほかに返す言葉もなく、こう答えます。「わたしたちは、だれのところに行きましょう。永遠の命の言をもっているのはあなたです。」（ヨハネ 6：67 – 68）

動機の源

ペテロは自分の原動力の源を知っていました。それは、わたしたちが福音に従って生活し、行動するうえで最も重要である動機そのものにあります。つまりイエス・キリストに対す

る信仰と証です。ペテロは次のように宣言しました。「わたしたちは、あなたが神の聖者であることを信じ、また知っています。」(ヨハネ 6:69。強調付加) イエス・キリスト、またキリストの神性とキリストの業に対する共通した強い信念を得ることにより、わたしたちも福音に添って生活し続ける動機を見いだすことができます。たとえ難しく思えても、だれかが気づかなかったとしても、自分がそうしたいとは言えないときでも、そうすることができます。

「ひどい言葉」というものは今も変わらず存在します。しかし、どのような疑いや不安があっても信仰を選ぶという選択肢はいつもあります。七十人のシ・ホイットニー・クレートン長老はこう言いました。「信じることを決断することは、わたしたちが行う決断で最も重要な決断です。」²

では、「ひどい言葉」を受けているのが自分自身である場合はどうでしょうか。

1. 「去ろうと」することが簡単だったときにさえも忠実だった、ペテロやほかの弟子たちの模範に従ってください。預言者や使徒、そのほかの指導者の勧告に耳を傾けてください。

「恐れや疑いがあるとき、困難なときには、……すでに得ている土台にしがみついてください。……すでに知っていることに固くしがみついて、新たな知識を得るまで、強くあってください。」³

「信仰をもって小さな一歩を踏み出し、さらに一歩進んでください。〔信じている〕真理に集中し、その真理で〔あなたの〕思いと心を満たすことができますのです。



……基本的な福音の真理から始め〔てください〕。』⁴

2. 聖典に親しみ、その教えに従ってください。

「モルモン書を毎日よく祈って研究し、その言葉を深く考え〔てください〕。』⁵

「神のみこころを行おうと思う者であれば、だれでも、わたしの語っているこの教が神からのものか、それとも、わたし自身から出たものか、わかるであろう。」(ヨハネ 7:17)

「……御言を行う人になりなさい。……ただ聞くだけの者となつてはいけません。」(ヤコブの手紙 1:22)

3. 戒めを守り続けてください。

「真心からの質問に対する答えは、わたしたちが熱心に探し求め、戒めに従って生活するときにやって来ます。……信仰があれば、そのときは論理的に納得いかないことも信じることができます。」⁶

「引き続き皆さんが従順であ〔るとき〕、……皆さんの求める知識と理解を

与えられるでしょう。』⁷

結局、わたしたちが持つべき動機はただペテロの言葉に尽きます。イエスがキリストであられ、御自分の教会を導いておられ、永遠の命の言葉を持っておられることを信じていますか。主に對するわたしたちの信仰は、時にすぐには理解することが難しい「ひどい言葉」に勝っているでしょうか。

福音に従って生活する報い

わたしたちが神とイエス・キリストを完全に理解することができないときにも、御二方を愛し、従うことを決意することで、計り知れない報いを得ることができます。「戒めを守ったからといって、わたしにどんな利益がありますか」と生まれながらの人は聞きます。それに対し、福音は次のような答えを与えてくれます。「この世において平和を、また来るべき世において永遠の命を受け、〔御父の住まいに用意してくださ

た場所を受け継ぐ」,「〔御〕父が持って
おられるすべてが……与えられる」,
「決して終わりのない幸福〔を得られ
る〕」(教義と聖約 59:23; エテル 12:
34; 教義と聖約 84:38; モーサヤ 2:
41 参照)。そして、十二使徒定員会の
ディーター・F・ワークトドルフ長老は
こう言っています。「金銭に代えられな
い貴いものがここ〔教会〕にあ〔りま
す。永遠の命の言葉、祝福された贖い
の約束、平安と幸福への道がこの教会
にあ〔り〕ます。」⁸ これらはほんの数例
に過ぎません。

わたしたちがキリストに倣い、戒めに
従うことに自らをささげるとき、前述の
祝福すべてとそれ以上のものを受け
ると約束されています。だからといって
その道がいつも容易であるとか、理解
しやすいものであるというわけではあ
りませんが、確固として立ち続ける人
に約束されている祝福は、この世の生活、
そして次の世にわたって注がれます。

しかしながら、これらの祝福が信じら
れないほどのものではあっても、それを
福音に従って生活するためのおもな動
機とするべきではありません。どんな
疑問を持っていようと、どの教義を理
解できないでいようと、イエス・キ
リストと主の贖いに対するあなたの信
仰は、ペテロやほかの弟子たちにとつ
てそうだったように、主の福音に従
って生活する原動力を得る鍵となり
ます。

「わたしたちの行動に最終的に影響
を与えるのは動機と意思です」とワ
ークトドルフ長老は言っています。「
イエス・キリストの回復された福音
が真実であるという証は、わたした
ちの生活に最も強い動機付けを与
える力となります。イ

エスは善い思いと正しい動機がもたら
す力を繰り返し強調し、こう言われま
した。「あらゆる思いの中でわたしを
仰ぎ見なさい。疑ってはならない。恐
れてはならない。」(教義と聖約 6:
36)

イエス・キリストと回復された福音
に対する証は、神が用意して下さった
計画を学び、それに従って行動する
うえで助けを与えてくれます。また、
神の實在、真理、慈しみを実感させ、
イエス・キリストの教えと贖い、末
日の預言者たちが神から召されてい
ることを確信させてくれます。⁹

わたしの場合、たとえ大変だと感じ
ても努力を続けるつもりです。祈りと
聖典勉強を続け、毎日救い主に対す
る自分の証を強める努力をします。そ
して、主が望まれる生活をし、主の
言葉と生ける預言者や使徒が教えて
くれる方法に頼り続けます。主に対
するわたしの信仰と愛だけでなく、
主の永遠の犠牲とわたしに対する愛
によって芽生えてくる動機を頼みと
しながら努力を続けるつもりです。■

注

1. ディーター・F・ワークトドルフ「キリストの弟子として歩む道」『リアホナ』2009年5月号、76参照
2. L・ホイットニー・クレートン「信じることを選ぶ」『リアホナ』2015年5月号、38-39
3. ジェフリー・R・ホランド「主よ、信じます」『リアホナ』2013年5月号、93-94。強調は原文のまま
4. ローズマリー・M・ウィクソム「信仰に立ち返る」『リアホナ』2015年5月号、94
5. トーマス・S・モンソン、「モルモン書の力」『リアホナ』2017年5月号、86
6. ローズマリー・M・ウィクソム「信仰に立ち返る」95参照
7. ラッセル・M・ネルソン「教会のための啓示、わたしたちの人生のための啓示」『リアホナ』2018年5月号、95-96
8. ディーター・F・ワークトドルフ「ともに集いましょう」『リアホナ』2013年11月号、24
9. ディーター・F・ワークトドルフ「個人の証が持つ力」『リアホナ』2006年11月号、37



二つの選択肢

「主の道は困難ではありません。人生は困難ですが、福音はそうではありません。……人生はだれにとつても困難ですが、また簡潔でもあります。選択肢が二つあるのみです。一つは、主に従い、主の力を授かり、平安、光、強さ、知識、確信、導き、愛、喜びを得る道です。もう一つは、どのような道であれほかの方向へ進み、主の支えや力、導きを受けずに、混乱と疑惑、悲痛と絶望の中を孤独に生きる道です。どちらの道がたやすいでしょうか。」

七十人のローレンス・E・コーブリッジ長老
「道」

『リアホナ』2008年11月号、36

わたしは、自分の人生が暗闇に覆われているのを感じました。そこで、ビショップと話をする必要があったと思ったのです。

悔い改めの最初のステップ

オーリラス・ペテルソン

わたしは、宣教師とバプテスマの日を決めたことを覚えています。彼らはわたしに天の御父とバプテスマの聖約を交わす備えができているかと尋ねました。喜びで胸がいっぱいになったわたしは、そのことについて深く考えもせず、「はい!」と答えました。愛ある御父がわたしに与えてくださった特別な贈り物を受け入れたいと思いましたし、人生で救い主なしでは幸福になれないことを知っていましたが、将来どんなことが待ち受けているのか何も分かっていませんでした。

ついに記念すべき日がやって来ました。それは忘れられない日となり、わたしはとても幸せでした。

暗闇の日々

バプテスマと確認の後、突然、毎日が暗くなったように感じました。わたしは家族の問題に取り組み、神のすべての律法に従うのに必死になっていました。どうしてよいか分からず、すべてを投げ出したいと思いました。だれもわたしのことを理解してくれないように思えました。

いつもモルモン書を読むことが大好きだったのに、その期間は一度も読みませんでした。ある日、家に一人でいると、

モルモン書を読むように優しく促す御霊を感じました。苦しみを和らげてくれる答えを見つけたいと思い、読む前に祈りました。すぐにアルマ書5章を開きました。27節にはこう書いてあります。「あなたがたは、罪のない状態で神の御前を歩んできたか。あなたがたは、もし今死ぬように召されたとして、心の中で自分は十分にへりくだっていると言えるであろうか。また、自分の衣は、将来御自分の民を罪から贖うために来られるキリストの血によって清められ、白くされていると言えるであろうか。」

最終的にわたしはこの言葉に心を動かされたのです。悔い改める必要があることが分かったので、ビショップに会う約束を取りました。ほんとうに怖かったのですが、何とか自分を奮い立たせてビショップに会いに行きました。

神の約束を理解する

ビショップの部屋に着いたとき、そのまま帰りたいと思うほど強い罪悪感に襲われました。でも、必要なことをすべて言える勇気が持てるように祈りました。ビショップはわたしを温かく迎え入れ、神の助けが得られるように祈りをささげました。ビショップは、まるでわたしが自分の息子であるかのように話し、言葉を通して愛を示してくれまし

た。ビショップはわたしに助言を与え、神の赦しを受けられるように幾つかのことをするように勧め、後日もう一度会いに来るように言いました。

わたしはこの機会を持てたことをとてもうれしく思っています。ビショップの助言に従い、最終的に、アルマに与えられた神の赦しの約束を理解するようになりました。「もしその者があなたとわたしの前で罪を告白し、真心から悔い改めるならば、その者をあなたは赦しなさい。わたしもその者を赦そう。」(モーサヤ 26:29) 心から悔い改めた後に、わたしは神が赦してくださったことを知りました。ようやく天の御父の愛を心

に感じることができ、暗闇が取り去られたのです。わたしは幸せな気持ちになり、自信を持つことができました。

ビショップが助けてくれる

ビショップはワードにおける主の代理人です。あなたのために神が用意してくださっているほんとうの幸福を見いだせるように、ビショップが助けてくれることを知ってください。ビショップを信頼しましょう。問題があったり、悔い改める必要があったりしたら、ビショップのところに行きましょう。ビショップが助けてくれます。

ビショップに会いに行くのが時として

簡単なことではないことは理解していますが、ロレンソ・スノー大管長(1814-1901年)は、天の御父の永遠の計画について次のように説明しています。「……今身に受けているようなことを経験するという計画が、〔生まれる前の〕霊の世界でわたしたちに提示されました。それはあらゆる点で楽しく好ましい計画というわけではなく、……しかし、昇栄して栄光を受けるためにその経験が必要だということをわたしたちははっきりと知り、理解しました。」そしてこう続けています。「〔わたしたちは〕神の御心に〔喜んで〕従うことにしました。その結果、わたしたちはここにいるのです。」(『歴代大管長の教え——ロレンソ・スノー』99)

悔い改めは、神の御心に従うことの一部です。ですから、ビショップを恐れるのではなく、ビショップの友達になりましょう。ビショップは神から選ばれた人です。そして、あなたが悔い改め、イエス・キリストのもとに行くことを通して魂が癒されるように助けることができます。主はわたしたちを助けたいと思っておられますが、わたしたちが悔い改めの最初のステップを踏み出すことが必要です。そうすることで、イザヤ 1:18にある、「たといあなたがたの罪は緋のようであっても、雪のように白くなるのだ」という約束が成就するのを目の当たりにすることができるのです。そしてそのために、ビショップはそこにいて助けてくれるのです。

わたしは神が生きておられること、イエス・キリストがわたしたちの救い主であられることを証します。御父とイエス・キリストは、わたしたちをととても愛してくださっています。■

筆者はハイチ共和国西県在住です。



主の方法で 学ぶ



十二使徒定員会
デビッド・A・
ベドナー長老

主が御業を速めておられるので、わたしたちは絶えず学び、変化し、救い主に信仰をもって前進し続ける必要があります。

すべてのことに関する一つの規範

1831年6月に預言者ジョセフ・スミスに与えられた啓示の中で、主は次のように宣言しておられます。「さらにまた、あなたがたが欺かれないために、わたしはすべてのことに関して規範を与えよう。サタンは地の方々におり、出て行ってもろもろの国民を惑わすからである」(教義と聖約 52:14)。

主がすべてのことに関して「一つの」規範を与えられたのは興味深いことです。(訳注——英文では特定の規範を示す“the”という前置詞ではなく一つを表す“a”を使っている。)[「すべてのことに関する一つの規範」と

いう言葉から、わたしは主が、あらゆる状況で用いるたった一つの規範があると示唆しておられるのではないと思います。むしろ、主の方法には、様々な霊的な目的を達成するために用いる多様な規範が含まれているのです。

学び教えるときにわたしたちが最終的に目指すべきことは、わたしたちの必要を満たすのに最適で、期待される学習の成果を実現する一つまたは複数の規範を見極めて用いることです。

聖霊は教師である

聖霊は神会の第三の御方で、啓示者、教師、慰め主、清め主であられます。また、わたしたちにすべてのことを思い出させてくださいます(ヨハネ 14:16-17, 26:3 ニーファイ 27:20 参照)。十二使徒定員会のジェームズ・E・タルメージ長老(1862-1933年)は

聖霊を招いて教師となっていただくことは、学びに関する主のすべての規範の中心的な目的です。



信仰によって 学ぶには、 心と 進んで行く精神の 両方が必要です。



次のように説明しています。「聖霊が人類の間で行われる任務については聖典の中に書かれてあるとおりです。聖霊は御父から遣わされる教師であられ、聖霊の教えを受けるにふさわしい者たちに、霊が進歩するうえで必要なすべてのことを明らかにされます。」¹ 聖霊を招き、唯一の教師となっていたとだけということは、学び教えることに関する主のすべての規範の中心的な目的です。

道徳上の選択の自由を行使し、正しい原則に従って行動する学習者は、聖霊に対して心を開きます。そうすることによって、聖霊からの教え、証の力、そして確認の証を受けることができるのです。信仰をもって、また信仰によって学ぶためには、受け身の態度でいるのではなく、霊的、精神的、肉体的な面で自ら努力することが必要です。わたしたちは、信仰に促された行いを誠実に一貫して続けることによって、聖霊からの教えを学んで受け入れる意欲があることを天の御父と御子イエス・キリストに示すことができます。

求道者が信仰によって学ぶのを宣教師が助ける方法について考えてみましょう。モルモン書を学んでそれにつ

いて祈る、戒めを守る、教会の集会に出席するなど、霊的な決意をしてそれを守るには、求道者が信仰を行使して行動することが必要です。この原則は、親、教師、指導者を含むすべての会員にも当てはまります。

教え、強く勧め、説明することは大切ですが、それだけでは求道者、子供、生徒、会員に、回復された福音が真実であるという証を伝えることは決してできません。求道者の信仰が行動を促し、心の扉を開いて初めて、聖霊は証を伝えることがおできになるのです。宣教師、親、教師、指導者が御霊の力によって教えることを習得しなければならないのは明らかです。しかし、同様に大切なのは、人が信仰によって自ら学べるように助けるという責任です。

わたしが説明している学習とは、単に知的に理解することや情報を記憶し思い出すということをはるかに超えたものです。わたしが話している学習は、わたしたちを神に対して目覚めさせ（アルマ5：7参照）、生まれながらの人を捨て（モーサヤ3：19参照）、心に変化を生じさせ（モーサヤ5：2参照）、そして主に帰依して二度と道を踏

み外さないようにするものです（アルマ23：6参照）。信仰による学びには、心と進んで行く精神の両方が必要であり（教義と聖約64：34参照）、それは聖霊が心の中に神の言葉の力を伝えた結果として生じるのです。教師から生徒、あるいは宣教師から求道者に、講義やデモンストレーション、あるいは実験を通して伝達できるものではありません。そうではなく、生徒が自ら知識を習得するために信仰を行使して行動しなければならないのです。

学び教えるための規範

1. 学ぶために準備する。日曜学校のクラスに出席し、教師が提示するテーマに耳を傾けるのは良いことです。しかし、よく取り組んで準備し、教師が事前に読み、深く考え、祈るよう勧めたことについて考えているなら、御霊の強い影響を受け、聖霊があなただけの教師になってくださいます。備えが啓示をもたらすのです。

2. 互いに教化し合うために話し合う。次の聖句に注目してください。「あなたが自身の中から一人の教師を任命しなさい。そして、全員が同時に語ることなく、一時に一人を語らせて、す

すべての者が彼の言うことに耳を傾けるようにしなさい。それは、すべての者が語って、すべての者が互いに教化し合うように、またすべての人が等しい特権を持てるようにするためである。」(教義と聖約 88 : 122)

これは、学び教えることに関する主の力強い規範の一つです。「あなたが自身の中から一人の教師を任命しなさい」という聖句を別の角度から見てください。だれが教師なのでしょう。聖霊です。もし聖霊に教師となっていたら、[全員が同時に語ることなく、一時に一人を語らせて、すべての者が彼の言うことに耳を傾けるようにし「なければならない」、……すべての者が語って、すべての者が互いに教化し合うように]しなければならないということではないのでしょうか。そのような教化をもたらすのは聖霊だけです。

互いに教化し合うために話し合うことで、啓示を受けることができます。現在、教会内では今までに増して霊的に繊細で、努力を要する、厳しい規範を学び応用しています。わたしたちは今までどおりの方法で行い、今までどおりの結果を得るのでしょうか。それとも、悔い改め、学び、変化し、ますます主に近い方法で教えるのでしょうか。

3. 行動するように勧める。この目的を達成するのに、たった一つの簡単な質問が役立ちます。それは、学んだことをどのように役立てますか、という質問です。啓示に従って行動することで、さらなる啓示が受けられるようになります。

わたしたちが主の速められるペース

について行けますように。また、今までどおりのことを今までどおりの方法ですることに満足しないように祈ります。

わたしは主イエス・キリストが実際に生きておられることを証します。主が生きておられること、主が復活されたこと、そして主がこの教会の頭であられ、教会の働きを導いておられることを証します。主はわたしたちすべて

が、御自分の速められるペースに遅れることなく、わたしたちの成長と学ぶのために主が定められた規範に従うよう切に望んでおられます。■

2014年6月25日に行われた新任伝道部会長セミナーにおける説教から。

注

1. James E. Talmage, *Articles of Faith*, 12th ed. (1924), 162



備えが 啓示をもたらします。

5

5つの方法で 総大会から 学ぶ

総大会はとてすばらしい機会です。世界中の教会員と一緒に、教会の指導者の話を聞き、主からの指示を受ける機会なのです。総大会のメッセージを視聴し、研究することによって、自分の生活に御霊がもたらされ、証を築く助けとなります。個人の啓示を受けて、またそれに従う機会となります。

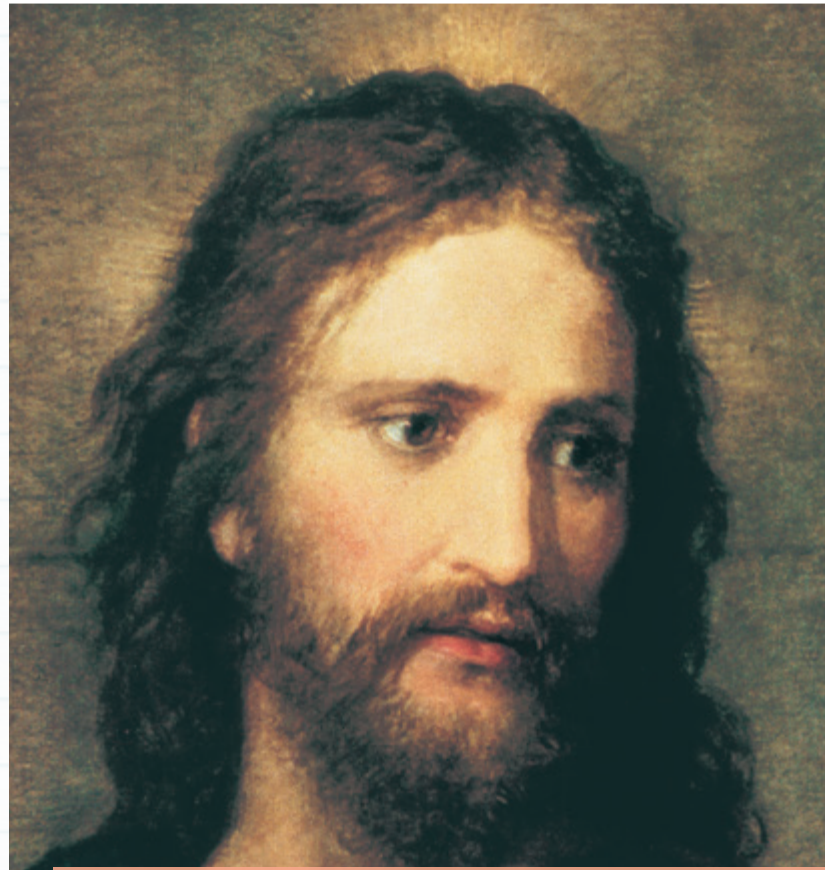
以下は総大会から学び、個人の啓示を受けるための5つの方法です。

「キリストの御霊の賜」の挿絵、ハイマンリッヒ、ホマン画

1

総大会が始まる前に、 自分が持っている 疑問を書き出す

大会が始まる前に時間を取って、自分の疑問や質問を書き出し、大会中に与えられる答えに注意を払ってください。あなたの祈りや疑問は、大会に参加し、御霊の声を聞くときに答えられるでしょう。



2

キリストについての学びを求める

預言者は救い主について証し、教えています（使徒10：43参照）。大会のメッセージを聞くときに、話者がイエス・キリストについて何を教えているのか考えることができます。リストを書き出すこともできるでしょう。



あなたには、啓示を受け、その啓示に従って恐れることなく行動する能力があります。

ヘンリー・B・アイリング管長
「主は啓示によって御自分の教会を導かれる」
2017年10月の総大会

5

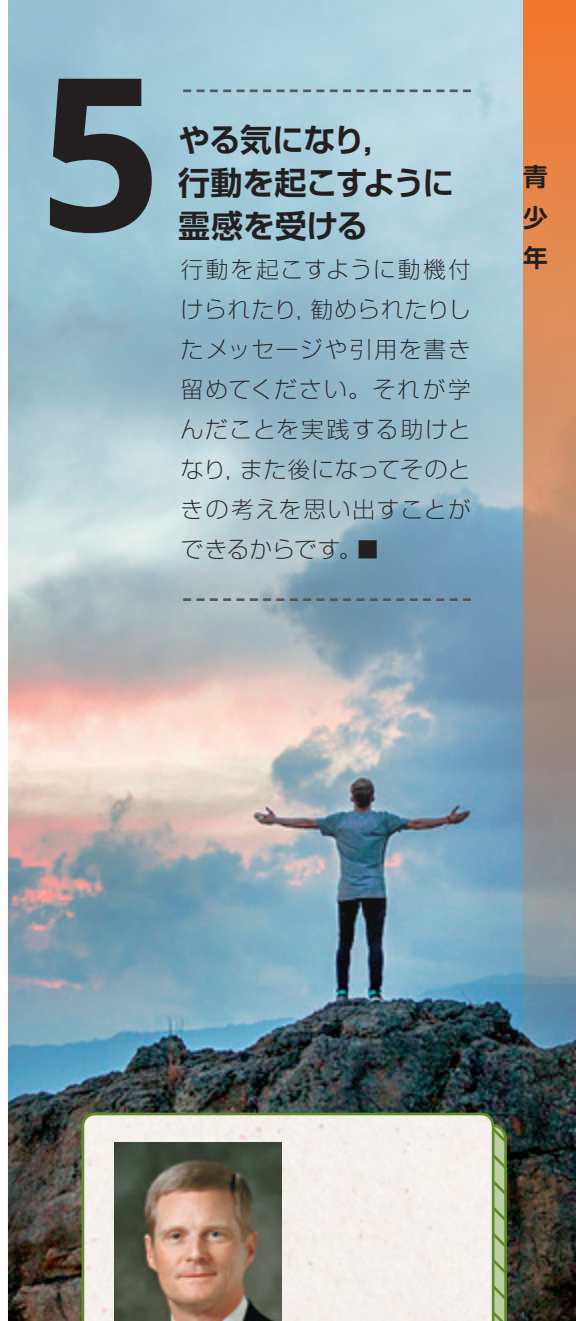
やる気になり、行動を起こすように靈感を受ける

行動を起こすように動機付けられたり、勧められたりしたメッセージや引用を書き留めてください。それが学んだことを実践する助けとなり、また後になってそのときの考えを思い出すことができるからです。■

3

テーマを見つける

総大会を何度か視聴すると、ある内容やテーマが何度も出てくることに気がつくでしょう。あなたが気づいたそのパターンが、あなたが学ぶべきことだと分かるように助けてくれている御霊の働きの一つかもしれません。



信仰をもって、また信仰によって学ぶためには、受け身の態度でいるのではなく、霊的、精神的、肉体的な面で自ら努力することが必要です。

デビッド・A・ベドナー長老
「主の方法で学ぶ」
この号の50ページ

4

モルモン書について記録を取る

教会の指導者が引用する聖句に注意を払うことによって多くのことを学ぶことができます。特に、「わたしたちの宗教のかなめ石」であるモルモン書がそうです（モルモン書の序文）。総大会の中で、引用される度に記録を取ってみるとよいでしょう。自分の気づきや発見にきっと驚くことでしょう。

聖霊から 教えるを受ける

次の青少年たちは総大会の前に、御霊を通して教えるを受ける備えをしました。以下に、過去の総大会から彼らが何を学び、それによって生活をどのように変えたのかが述べられています。



靈感を与える指示

総大会から靈感を受けました。ほかの人々に仕え、キリストを信頼し、鉄の棒をしっかりとつかむようにという指導者からの指示を聞いているときに、この福音が真実であり、また戒めを守り、神の御言葉に従うことによって、永遠の命を受けることができると聖霊が証するのを感じました。わたしは、自分の住んでいる地域でもっと奉仕をして、日々の祈りや聖典学習を通して自分の証を強めるという目標を立てました。わたしは、自分が天の御父の娘だと知っています。天の御父は生きておられ、いつでも、そして永遠にわたしを愛してくださいます。

マデリン・B, 16歳 (アメリカ合衆国, デラウェア州)

本人について: 3人きょうだいの一番上。クロスカントリーや読書、歌うことが好き。スペイン語が大好きで、将来は英語を母国語としない人々に英語を教える仕事がしたい。



質疑応答

総大会の前に、二つの質問がありました。(1) 友人が誤った選択をした場合、どのように良い態度を維持して、その友達を助けることができるか。(2) 周りの友人たちに笑われないように証をするにはどうすればよいか。総大会中に、自分は独りではないと御霊が証してくれました。今では、心から聖典を研究することで、友達に関する自分の質問の答えを受けることができると知っています。御父が自分の祈りを聞いてくださることを知っています。わたしは、毎日、より良くなるために努力します。

**アイザック・R, 13歳
(エクアドル, ピチンチャ州)**

本人について: 一人っ子。ピアノを弾くこと、スケート、サッカー、柔道、水泳、歌うこと、そしてお菓子を作ることが好き。医師になることが夢。好きな色は緑。





成長への招き

この総大会により、イエス・キリストの福音の道に従いたいというわたしの望みは強められました。この教会がわたしたちに光と幸福をもたらす真実の教会であるということを知り、理解する助けになりました。御霊が、毎日成長し、モルモン書を読んで福音に対する強い証を得るようにわたしを招いているように感じました。天のお父様が、これらの靈感あふれるメッセージをわたしに聴いてほしいと望んでおられたと信じています。

ヴィセンテ・A, 16歳(チリ, 都市部)



本人について: 4人きょうだいの長男。ビデオゲーム、音楽を聴くこと、サッカーをすることが好き。演劇部に所属。伝道に出たいと望んでいる。



学ぶための備え

総大会では、御霊をととても強く感じます。あらかじめ質問を用意して、総大会に向けて霊的に自分を備えたので、総大会が生活の中でより意義深いものとなり、それぞれの説教から、以前より多くのことを学ぶことができるようになりました。預言者と使徒にほんとうに感謝しています。彼らは天の御父から、わたしたちの人生に導きを与えるために送られたのです。

ベン・H, 17歳
(アメリカ合衆国, ケンタッキー州)

本人について: スポーツが大好き。部活はバスケットボールとテニスをしていて、ほかにスキーやスノーボード、旅行やハイキングが好き。



光を求める

一昨年は自分にとって、とても大変な一年でした。父はがんのため闘病中で、そのうえわたしの町でテロリストによる攻撃がありました。ひどく落ち込んでしまい、霊的な、また物理的な安全を失う恐れを感じたときに、どのように平安を感じられるか悩んでいました。総大会を通して、徳高い生活をし、心を信仰で満たし、永遠の観点を保つことによって、平安を見いだすことができると学びました。困難なときは、自分の理解に頼るのではなく、キリストに頼るように靈感を受けました。キリストの光の輝きを求めることによって、悪い影響を克服することができるかと知っています。

オリビア・H, 17歳(ベルギー)

本人について: 水泳選手。奉仕が好きで、炊き出しや里親施設、学校の特別支援プログラムでボランティアをしている。

教会の若い

会員の皆さん、

約束します。

もし、あなたが

(総大会の説教に)

耳を傾けるなら、

御霊が皆さんの心を

揺り動かすことでしょう。

主が皆さんに人生において

してほしいことを

告げてくださるでしょう。

十二使徒定員会

ロバート・D・ヘイルズ長老(1932 - 2017年)

「総大会 —— 信仰と証を強める」

2013年10月総大会

総大会について知る

カンファレンスセンターの
オルガンには

7,667 本の

パイプが用いられているが、
会衆から見ることは、
そのうちの 170 本のみである

ラッセル・M・
ネルソン大管長は、
中央幹部として
34 年務め、これまで

84 回

総大会で説教を
述べてきた

221

におよぶ国や
地域の人々が
総大会を視聴する

大会説教が
翻訳される
のは

94

言語



カンファレンスセンターの
教壇の木材には、
**ゴードン・B・
ヒンクレー大管長**
(1910 - 2008 年) の
家の庭にあった
古いくるみの木が
使われている

100,000

人以上が、
アメリカ合衆国ユタ州ソルトレーク・シティーにある
カンファレンスセンターで行われる
5 つの部会に参加する

ボーイング 747 機 ——

長さおよそ 70.5 メートルの機体を
カンファレンスセンターの
大ホールに収容できる

およそ

35 の説教が

毎回の総大会で
述べられる

総大会においてなされた、特筆すべき発表 ——

1995 年 9 月 ——
「家族 —— 世界への
宣言」

1998 年 4 月 ——
小規模神殿の建設

2001 年 4 月 ——
永代教育基金創設

2012 年 10 月 ——
宣教師の年齢制限が
下げられる

2018 年 4 月 ——
ミニスタリングが
ホームティーチング
と家庭訪問に取って
代わる

「家族が争ったり 口論したり しているときに 御霊を 家庭に招くには、 どうすれば よいでしょうか。」

平和を作り出す人になる

「相手の行動を変
えることができなけ
れば、自分自身を正
しく治めるよう努め
る必要がある。……

家族の間に議論や
あつれきが生じたら、
良い関係を築き、相
手の話を聞き、一緒
に考えることが大切
である。」

十二使徒定員会
マービン・J・アシュトン長老
(1915 - 1994年)
「論争している暇はない」
『聖徒の道』
1978年10月号, 8, 10 参照



謝る

わたしは口論になったとき、たとえ自分が正しいと分かっている、謝って自分の非を認めると、その場に平安を取り戻す助けになると分かりました。そしてその場を離れ、静かにして、話題を変えるか、何か意見の一致することを見つけます。そうすれば、御霊が戻って来るのに時間はかかりません。

ディラン・M, 15歳
(アメリカ合衆国, カリフォルニア州)

ひたすら愛する

わたしは、家族に純粋な愛を示すことで、家庭に御霊が宿るよう招くことができるようになりました。預言者は、愛が変化をもたらすきっかけとなり、魂に癒しをもたらすと語りました。愛の精神は家庭に安全と安らぎをもたらします。

ジョセフ・C, 18歳
(アメリカ合衆国, アリゾナ州)

家族と話す

家族が教会員でなければ、口論があるとどんなにつらく感じるかを伝え、改善できるように話してください。それがうまくいかなければ、祈って再度挑戦してみましょう。家族が会員なら、彼らは神の子供で口論は避けるべきであることを思い出してもらいましょう。

キャロライン・S, 19歳
(ブラジル, ゴイアス)



御霊を求めて祈る

周りで家族が争っているときは、御霊の存在を感じにくいものです。しかし、あなたがふさわしくあれば御霊を感じられないわけではありません。さらに強い主の御霊を求めて心の中で祈り、与えられた促しに特別な注意を払いましょう。天の御父はあなたが平安を感じられるように助けることができになりますし、家庭に平安をもたらす最良の方法を御存じです。

ケイティ・G, 17歳
(アメリカ合衆国, ユタ州)

歩み寄るように努める

みんなにとって有益な方法で問題を解決できるよう家族で話し合ったり、聖文を分かち合ったり賛美歌を歌ったりしてください。問題を解決できるよう天の御父に助けを求めることもできます。こうすることで、大声を出したり暴力的な方法を用いることなく、皆が穏やかに問題を解決することができますでしょう。聖霊は確かに、皆を平安で満たし、もう争いたくないという望みを与えてくださるでしょう。

ルイス・F, 14歳
(メキシコ, プラヤ・デル・カルメン)

本誌の答えは、問題解決の一助となるように意図されたものであり、教会の教義を公式に宣言するものではありません。



証は単なる感情以上のものですか。

救い主のペテロに対する「あなたにこの事をあらわしたのは、血肉ではなく、天にいますわたしの父である」という言葉は（マタイ 16：17）証について語ったものです。証とは、聖霊を通して神が明らかにされる知識です。

聖霊は、わたしたちが聞くというよりも感じる声で話されますが、「思いと……心」の両方（教義と聖約 8：2。強調付加）、すなわち感情だけではなく考えにも働きかけられます。

預言者ジョセフ・スミスは啓示の御霊について、「純粋な英知が流れ込んできたと感じ……、突然様々な考えが湧いてくる」といった感覚であると説明しています（『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』132）。

わたしたちが思いと心、すなわちわたしたちの考え、感情、望みを神に向けるとき、神は聖霊の静かな小さな声によってわたしたちの思いと心に語りかけることができになります。神がわたしたちの霊に働きかけられるとき、ある特別な感情と考えがわたしたちに流れ込んでくるように思えます。それは、神がわたしたちに与えてくださる証なのです。

あなたはどのように思いますか

「良い標準を持った友人をどのように見つけられるでしょうか。」

あなたの意見と、希望する場合は高解像度の写真を、2018年11月15日必着で liahona.lds.org からお送りください（「投稿する」をクリックしてください）。

掲載される際、誌面の都合上、あるいは明瞭な表現にするために編集されることがあります。

将来の備えとなる道

教会機関誌
レア・バートン

14

歳の少女は普通、ほこりにまみれた納屋でさびついたショベルを手に、嫌な臭いのする馬小屋を掃除することを夢見たりはしないとします。しかし、わたしは、もっと大きくなって別の仕事をもらえるまで、毎日放課後にそのような納屋で仕事をしました。

高校時代に働かなければならないことはわたしにとって決して理想的な状況ではありませんでしたが、いつか自分が気に入る仕事、すなわち動物の汚物を片付けることとは無関係の仕事に就きたいなら、大学に行く必要があり、大学に行くにはお金が必要だということを理解していました。自分にとって、やりがいのある仕事に就くための正しい一歩は教育を受けることでした。

幸運なことに、わたしの歩んだ道は、働き、自分の必要を満たすことについて教えてくれる一つの方法でした。このことを、物質的にも、霊的にも自立すると言います。自分の選択肢を考えるときには、最もよく備えてくれそうな道を選ぶように努めてください。

以下は、ほんの数年前に皆さんと同じくらいの年だった人々の体験談です。ヤングアダルトの模範に倣うときに、皆さんも自立に成功するための道を見つけるでしょう。

周りの人の必要を考える

オウドム・ピセス (カンボジア)

目標を実現するには一生懸命に努力することがとても重要だといつも自分に言い聞かせていますが、有能な人になるもう一つの方法は賢く働くことです。イギリスで伝道した後、わたしはカンボジアに戻って求人市場を見ました。それぞれの仕事に就くために必要な訓練の期間と費用などについて調べました。

衣料品管理担当者になるための職業訓練プログラムは、期間が短いものの難しい講座で、あまり多くの人が受講していないことが分かりました。わたしは良い機会ととらえ、受講を決めました。今はプログラムを修了し、衣料品を扱う会社の商品管理担当者として勤務しています。

自分に合った仕事を見つけることはとても難しいこともあります。救い主がわたしを助け、高めてくださいます。



望んでいる未来に向かって 今備えをする

アン・ソフィー・カビン、
ローレンス・カビン(イギリス, スコットランド)

アン・ソフィー——わたしは大学で勉強したいといつも思っていましたが、何を勉強したいかは10代の間にかなり変わりました。高校卒業後、わたしは半年間病院でボランティア活動をしました。以来、看護師になることを夢見るようになりましたが、自分がなれるとは思いませんでした。

ワードの自立支援クラスで、自分に資格がないとしても就きたいと思う仕事を選ぶように言われました。どうすべきか祈ると、看護の道がいつも思い浮かびました。わたしは主の促しに従うことにしました。

看護師になる道は決して簡単ではありません。初めに、看護学のプログラムについて、履修するために何が必要かについて調べました。同じような課程を踏んだ人々の話も聞きました。最初に看護プログラムに申し込んだときはキャンセル待ちのリストに入られました。でも、わたしは諦めず、もう一度願書を出し、その後入学することができました。時々、忍耐して主を信頼する必要があります。主はあなたのために御自身の計画をお持ちなのです。



ローレンス——今よりももっと小さかったとき、どんな教科でも、どんな仕事でも、自分の最善を尽くすという目標を立てました。常に学んで自分を磨き、成功するための最良の機会を得ようとしてきました。

わたしは今、衣料品を扱う会社でマネージャーをしています。警察官になりたいと思っています。スコットランドでは、警察になるためには3年間続けて国内に在住していることが必要です。伝道のために2年間海外にいたため、わたしはあと数か月待たないといけません。

それは大きな障害でしたが、諦めませんでした。家族を養うために良い仕事に就いていますし、将来別の仕事に就くときに良い推薦がもらえるよう一生懸命働いてきました。



自分の道を見つける

これらのヤングアダルトのように、様々な道が自分と将来の家族の必要を満たすための準備となります。その目的を心に留めていれば、成功につながる計画を立てることができます。十二使徒定員会のディーター・F・ワークトドルフ長老はこう教えています。「どのような境遇に置かれていても、最善を尽くし、何をするのであっても、優れた評判を築きましょう。全身全霊を傾けて、毎日のすばらしい労働の機会に臨みましょう。」(「いかなる経済状況にも当てはまる二つの原則」2009年10月総大会) 今、勉強や仕事に心を注ぐなら、未来に対してさらに自信を持つ助けとなる習慣を身につけることになります。■

編集者より——ステークの自立支援スペシャリストに紹介してくれるようビショップに頼んでもよいでしょう。自立支援スペシャリストは、将来の教育や職業についての可能性を見つける手助けをすることができます。

1.

自分について知る

あなたは何が得意ですか。どんなことをするのが好きですか。これらの質問に答えることで、あなたがすでに持っているスキル、興味、才能に合った職業を見つけることができます。

ヒント——あなたにどんな才能があるか、両親、教師、友達に聞いてみてもよいでしょう。驚くような回答があるかもしれません。

2.

周りの世界について知る

あなたの住んでいる地域ではどのような仕事の求人が多いですか。どの会社が募集しているのでしょうか。現在需要が増えていて、将来良い機会を与えてくれそうな分野の仕事を選ぶことは賢明です。

ヒント——多くの場合、単科大学、総合大学、職業訓練学校では、どんなスキルの需要が高く、どの業界が伸びているかを把握しています。

3.

次にすべきことを知る

あなたが就きたい仕事にはどんな準備が必要ですか。必要な研修や教育はどこで受けられますか。学費をどのように賄いますか。仕事面で長期的な目標を達成するには、そこに到達するための方法を知らなければなりません。

ヒント——自分のしたいことをすでに行っている人の話を聞いてもよいでしょう。質問をしてください。ほとんどの人は喜んで助言や提案を与えてくれます。

神の愛を伝える



アリー・B, 12才
(アメリカ合衆国ケンタッキー州)

少し前、家族と一緒にケンタッキー州に引っ越してきました。引っ越しで、友達や親せきと遠くはなれてしまい、ほんとうに悲しかったです。

ケンタッキーはわたしが慣れ親しんだ場所とは随分とちがってました。初めて教会に行ったとき、あまりたくさん人がいないことがわかりました。自分の支部がとても小さいことに気づいたとき、そのことについて悪く考えるよりも、何かしようと決心しました。

次の日、母とわたしはお店に行きました。家を出るとき、バスアロングカードを一束持って行きました。店に着くと、キャンディーバーを一つ取ってレジに行きました。店員はキャンディーをレジに通して手渡してくれました。わたしがキャンディーを返すと、彼女は混乱した様子で言いました。「しはらいは、すんでいますよ。」

「分かっています。でもあなたにあげます。プレゼントです。」そして、キャンディーと一緒にバスアロングカードも渡しました。彼女は微笑んで、「ありがとう」と言い、バスアロングカードのうらを見ました。わたしはそこに「すべての人は神の子供です」と書いておきました。たとえ彼女が教会に入らなかったとしても、何か良いことをしたのだと思い、幸せな気持ちで帰りました。

その日、後になって残りのバスアロングカードをレジの近くにわすれてきたことを思い出しました。次にその店に行ったとき、まだそこにあるか聞きに行ったのですが、そこで見た光景に、わたしは思わず立ち止まりました。ました。およそ5台のレジに「すべての人は神の子供です」と書いたバスアロングカードが置いてあったのです。あのレジ係が配ったのでした。わたしは自分がしたことにおおきな幸せを感じました。■



谷でささげたいのり



カーセン・K, 11才 (アメリカ合衆国, ユタ州)

去年、ぼくはお父さんと弟と一緒にハイキングに行きました。谷のおくまで歩いて行ったところで、横道に行ってみました。大きなほらあなや、すばらしいながめの場所を見つけました。岩がぐらぐらしている場所や急な坂を、どんどん高く登って行きました。

しばらくして、完全にまよってしまいました。谷底に行くには、どちらに進めばよいか分かりませんでした。深い木のしげみに囲まれて、山のでっぺんも、谷底も見えなくなりました。ほんとうにもどかしくなってきました。ぼくも、お父さんも、どっちに行ったらいいか分かりませんでした。

辺りは暗く、寒くなってきました。谷からぬけ出すなど、とてもできそうにありませんでした。でも、天のお父様はどっち

の方向に行けばよいかをごぞんじだとぼくは知っていました。

「もしここからぬけ出したいなら、いのらないといけない!」とぼくは言いました。そしてぼくたち3人にはひざまずいていのり、谷から出られるようにみちびいてくださいと天のお父様をお願いしました。

歩き始めると、高くまっすぐにのびた木が見えたら左に曲がるべきだと感じました。左に曲がると、ぼくらの車が見えました。谷からぬけ出せるように天のお父様が助けてくださったことを知っています。天のお父様はいのりにこたえてくださり、ちょうど太陽がしずもうとしているとき、無事に帰ることができました。

いのりの力と、天のお父様がいのりを聞いてくださることに、ほんとうに感謝しています。■

イラスト: ケビン・キル

チェコ共和国で 光をかがやかせる

きょうわこく
シヤロン・グッドリツチ
教会機関誌

わたしたちは、チェコ共和国の初等協会の子供たちです。自分の国でどのように光をかがやかせているかをしようかします。

まえに、お気に入りのグローブをなくしたことがありました。とても悲しかったです。お母さんといっしょにのりでしたが、見つかりませんでした。信仰を持つとうとしました。1週間後、弟が道でぼくのグローブを見つけてくれました。神様はぼくたちのいのりにりにこたえてくださいます。ぼくは神様を愛しています。そして主が生きておられることを知っています。

アンドレー・W, 9才



がっこうに、教会員ではないけれど、わたしの標準を尊重してくれる友達が何人かいます。いのったほうがいとわたしが言ったとき、みんなが賛成してくれました。とてもうれしかったです。

イバナ・A, 11才



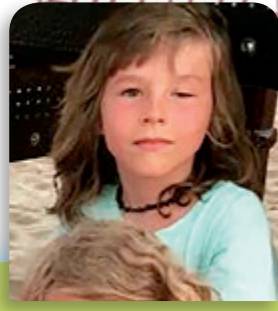
友達とわたしは下の階に行こうとしていました。エレベーターの所まで行ったとき、いやな気持ちでしたので、友達にエレベーターを使わないように言いました。でも、みんなはエレベーターを使うことにしました。わたしは階段を使いました。下におりたとき、友達はいませんでした。



エレベーターが途中で止まってしまったのです。出られるようになるまで、しばらく時間がかかりました。大変な事故が起こらなくてよかったと思いました。そして、せいいいにしたことが、良い気持ちを感じました。

アマリー・N, 10才

はまべ 空がだんだん暗くなりました。
 風がふいて、波が大きくなりました。かみなりや
 いなずまが起こり、ひょうがふってきました。
 みんなが避難所ににげました。あらしでけがを
 した人はいませんでした。家に帰るとき、にじが
 3つ見えました。神様が助けてくださり、
 守ってくださったと知っています。
 ヤクブ・B, 10才



お母さんからお風呂に入ってねるように
 言われて、ぼくはいやだったので、
 お母さんにおこりました。悪いことを
 選んだので、次の日、悲しい気持ちに
 なりました。お母さんは、おいのりして、
 天のお父様にゆるしてくださるように
 お願いしようと言ってくれました。
 二人でひざまずいていのりました。
 気持ちが楽になりました。
 ぼくは、くい改めることができるし、
 イエス・キリストのおかげで、
 ゆるされることを学びました。
 サムエル・H, 5才



わたしは学校に一人の友達がいますが、わたし
 のほかは、だれもその子と友達になろうとしま
 せん。ほかの子たちが、いじわるなことを言っ
 て、その子をいやな
 気持ちにさせまし
 た。わたしは先生
 に話して、一緒に遊
 べるよう、その友達
 をさそいました。友
 達は喜んでくれま
 した。
 リュドミラ・V, 8才



わたしは教会であかしをし
 ました。勇気がいりました。
 そのときから、みたまを感じ
 ています。
 エリスカ・K, 11才

ペットのモルモットが
 病気になったとき、いのりました。
 天のお父様が助けてくださることに
 感謝しています。
 アネータ・P, 10才



星を
 送ってください!



星を集めるのも、もう
 少しで終わりになります!
 まだ星を送っていない人は、急いで星と
 経験談、写真、お父さんかお母さんからの
 きよか書を liahona@ldschurch.org に
 送ってください。



「^よ世のあがない^{ぬし}主、^{ぜんじんるい}全人類の^{しゅ}主である^{かた}お方についてあかしします。その^{かた}お方は^い生ける^{かみ}神の^こひとり子です。」

じゅうに しとていんかい
十二使徒定員会

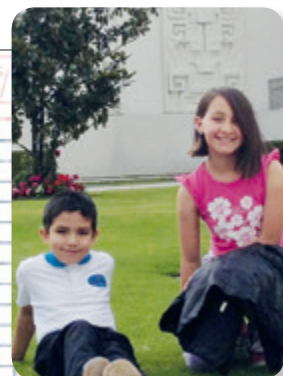
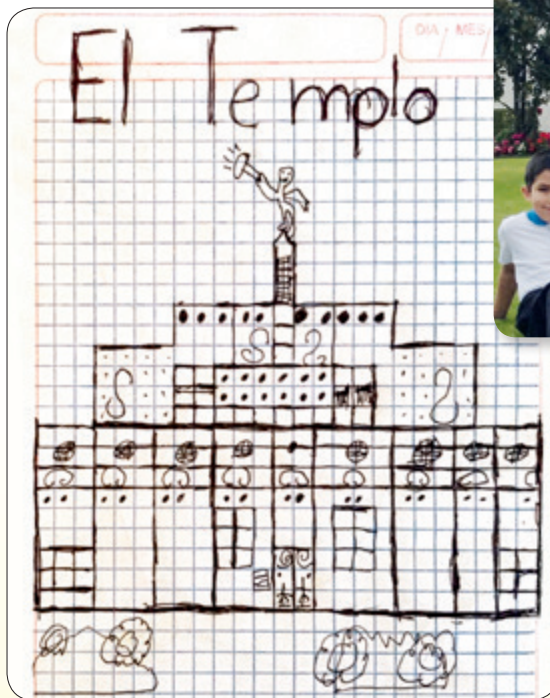
ジェフリー・R・ホランド^{ちゆうろう}長老

「^{かいふく}回復の^{きせき}奇跡」^{せいと}「^{みち}聖徒の^{みち}道」1995年1月号, 38

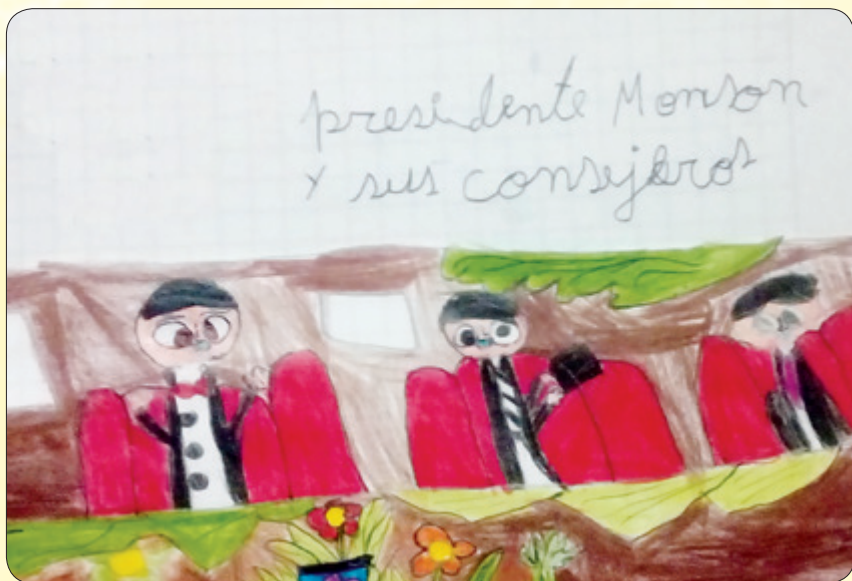
わたしたちのページ



教会に行くとき、神様のみたまを感じます。また、神様と救い主イエス・キリストへの愛を感じます。わたしはあがない主を愛しています。
アヤナ・B, 7才 (フランス)



ぼくは神殿で家族と一緒にすごするのが大好きです。神殿は美しい場所で、12才になったら行くことができます。神殿は主の宮です。
アルド・C, 10才 (メキシコ)



「モンソン大管長と、顧問」
オマール・A, 9才 (ペルー)



わたしは学校で友達に福音を伝えるのが好きです。友達の中に一人は話したり、書いたり、読んだりするのが苦手な男の子がいます。イエス・キリストがお教えになったように福音を伝える一つの方法は、助けたり、伝えたりすることです。先生から宿題が出されると、わたしはいつもその男の子を進んで助けています。わたしは仕えるのが大好きです。なぜなら、天のお父様の愛を感じられるからです。

アリソン・M, 10才 (エルサルバドル)

オランダにおける 希望

メーガン・アームクネヒト

ほんとうにあったお話をもとに書かれました。

グレースは15才。彼女の住むオランダは第二次世界大戦の真ただ中です。戦争が始まってから、もうずいぶんたっています。オランダの人々は皆飢えていて、戦争が一日も早く終わることを望んでいました。

第二次世界大戦の最後の年、オランダにとっては実に最悪の年となりました。ナチスが何もかも持って行ってしまったのです。グレースは学校へ行くことができず、家で暖房に使う石炭もありませんでした。グレースと家族は、空腹を満たすために、チューリップの球根を食べなければならぬほどでした。球根はほんとうにひどい味でした。でもいちばんつらかったのは、お父さんがまだほりよとしてとらえられていることでした。

しかし、何となくみんな希望を持っていました。どうやらナチスは戦争に負けそうだといいことでした。そして1945年5月、ナチスはこうふくしました。オランダはついにまた自由になったのです。人々は通りに出て祝いました。グレースもまた学校へ行けるようになりました。怖い兵隊もいなくなったのです。

中でもいちばんうれしかったこと、それはグレースや弟たちが学校から歩いて帰って来たら、家の前に、オランダの国旗がはためいていたことです。それは一つのことだけを意味していると確信しました。

「お父さんが帰って来たんだ！」ヒーバーが叫びました。

グレースも弟たちも急いで家の中に入ります。グレースはお父さんの体にくるしを回すと、思い切りだきしめました。お父さんもしっかりとだきしめてくれます。お父さんが家にいるなんて、ほんとうにすばらしいことでした。

それから間もなくして、食糧や衣料、医薬品の包みが続々

と送られて来るようになりました。ソルトレーク・シティーの教会指導者が、戦後のしえんをするために、たくさんものを送ってくれたのです。グレースは新しい服ももらえました。同じ服を5年も着ていたのです。だから、新しいものももらえてほんとうに幸せでした。

何年ぶりでしょうか、グレースはおなかいっぱい食べました。伝道部の会長とオランダ政府は、食糧増産のために、ジャガイモプロジェクトを始めることにしました。教会員は、近くの畑にジャガイモをたくさん植えました。秋になれば、あきるほどジャガイモが食べられるようになるはずでした。

「見て！」グレースは、芽を出し始めたジャガイモを指さしながら、お父さんに言いました。「もうおなかをすかせることなんてないんだわ。」

お父さんはうなずきましたが、その顔にほほえみはありませんでした。こう言うのです。「ザッピー会長と話したんだ。会長の話では、ドイツの末日聖徒は、戦争中のわたしたちと同じように、まだ飢えているらしい。わたしたちと違って、政府から援助を受けられないでいるんだ。」お父さんは、グレースの両肩に手を置きました。「ザッピー会長が、わたしたちのジャガイモをドイツの聖徒にあげてくれないだろうか、と言うんだ。」

「わたしたちのジャガイモをあげるなんて！」グレースは叫びました。だってナチスはドイツからやって来たのです。「末日聖徒かもしれないけど、それでもドイツ人には変わりはないわ。」

お父さんはこう答えます。「簡単なことではないことは分かるよ。でも、彼らも神様の子供なんだ。神様はドイツ人も愛しておられる。お父さんは、ドイツ人にほりよにされたことは、もうゆるしたよ。主は、ゆるせるようにわたしたちみんなを助けてくださるんだよ。」

グレースはお父さんの顔を見上げました。お父さん以上





に勇敢な人はいないということをグレースは知っていました。でも、お父さんのようにゆるす勇氣を持てるものかどうか、わかりませんでした。すると、戦時中に学校の先生が言ったことを思い出したのです。「ドイツ人全員がナチスというわけではないし、ナチスの軍人が全員悪いわけでもありません。」そして今、ドイツの少年少女がおなかをすかしています。かつてのグレースも同じでした。

グレースは深呼吸をすると、こう言いました。「分かったわ。わたしたちのジャガイモをあげましょう。」

お父さんはグレースをだきしめると、笑顔を見せました。「ほんとうに勇氣のある子だ。なかなかできることじゃないぞ。でも、わたしたちはイエス・キリストの弟子だし、ドイツの兄弟姉妹も同じなんだ。」

グレースはほほえみました。心の中にあつた怒りの感情

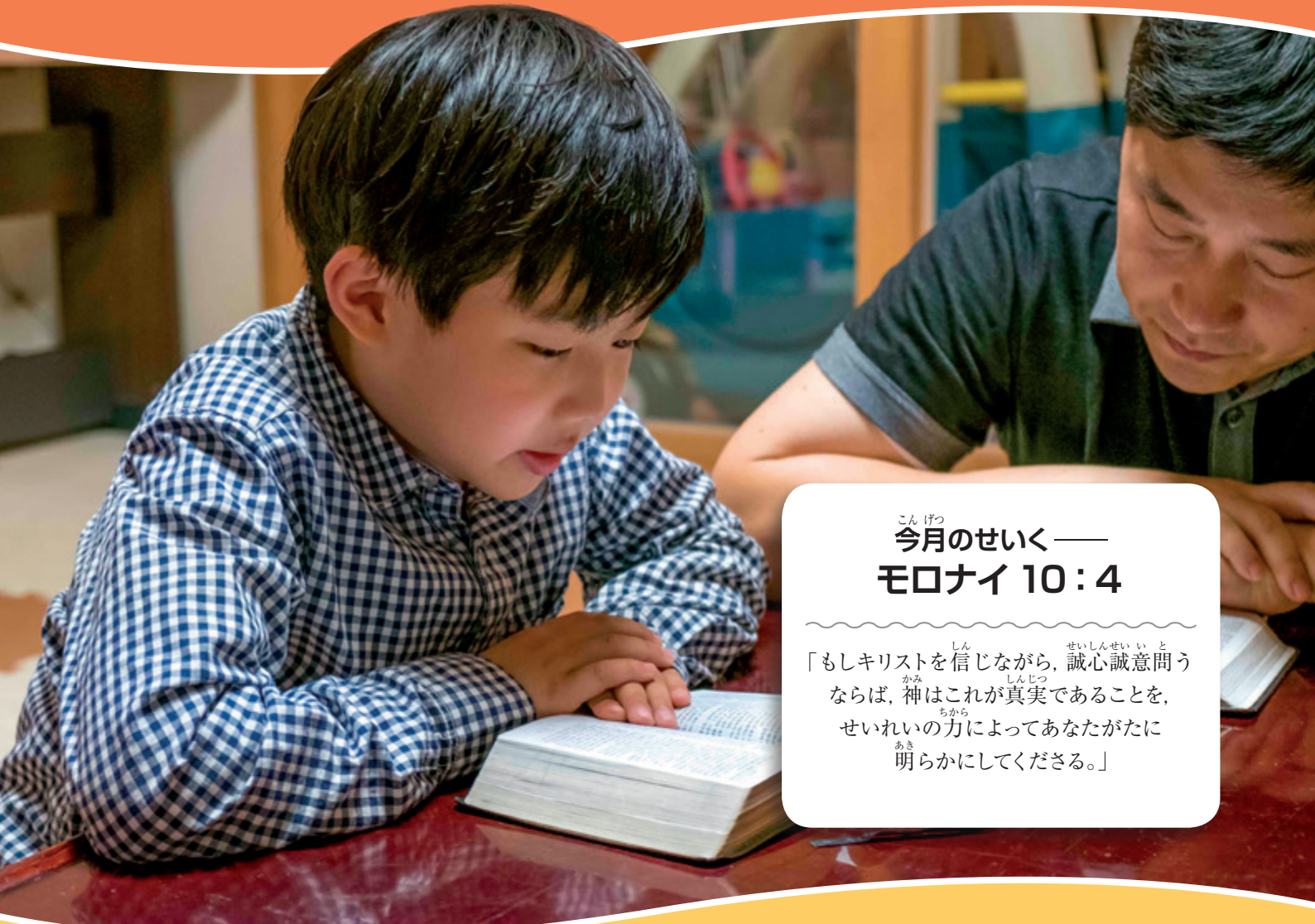
は消えていました。そして、おだやかな温かい思いを感じていたのです。ドイツ人をゆるすことができました。そしてイエスの助けで、愛することもできるようになったのです。■
このお話を書いた人は、アメリカ合衆国ニュージャージー州に住んでいます。

オランダの末日聖徒は、ドイツの末日聖徒に14万ポンド(70トン)のジャガイモと18万ポンド(90トン)のニンジンをお届けしました。その後1953年に、今度はドイツの聖徒が、大洪水に見舞われたオランダの教会員に必要なものを送ったのです。

モルモン書 読書 クラブ

モルモン書を読んで、クラブに入ろう!

自分ひとりで、また家族や友達と一緒に読むことができます。そして、モルモン書を読んでいる写真を送って、モルモン書から学んだことや、モルモン書の中の好きな物語について教えてください。 liahona.lds.org から、「投稿する」をクリックして送ってください。



今月のせいぐ—— モロナイ 10:4

「もしキリストを信じながら、誠心誠意問うならば、神はこれが真実であることを、せいれいの力によってあなたがたに明らかにしてください。」



モルモン書の中でわたしのいちばん好きな物語は、第3ニーファイ17章に書かれている、イエス様が子供たちを祝福しておられる場面です。イエス様や天のお父様が

わたしたちをどれほど愛しておられるかが分かるのでこの物語が好きです。わたしはその子供たちに自分を重ね合わせて、そこに立っている自分を想像します。

バルボラ・J, 11才 (チェコ共和国)



ぼくはモルモン書が大好きです。真実の本だからです。預言者によって書かれました。正しいことを選べるように助けてくれて、問題があるときにも助けてくれます。ぼくはモルモン書を信じています。

ジェイソン・S, 10才 (インド, マハラシュトラ)

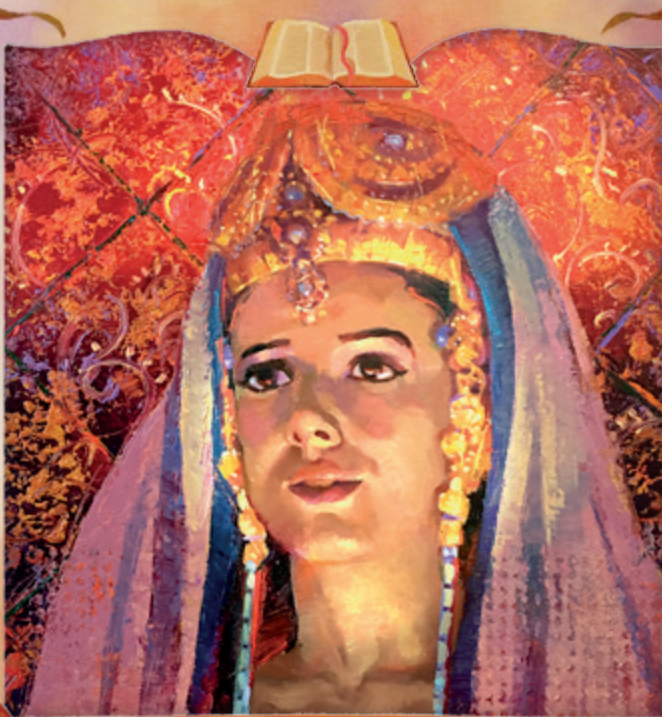
勇気あるエステル

エステルはペルシャの女王でした。王は、エステルがユダヤ人だと知りませんでした。王には、ユダヤ人をきらっている悪い友達がありました。その人は王をだまして、国中のユダヤ人を殺すべきだと言わせました。エステルは、自分の民を救ってくれるように王に願うことにしました。でも、王座に上がれば殺されるかもしれない。エステルは、ユダヤ人たちに自分のために断食してくれるようにたのみました。エステルが夫である王の前に行ったとき、王は喜んでむかえてくれました。エステルは王と王の友達を夕食会にまねきました。その席で、王に自分がユダヤ人であることを話しました。王は法律を変えることはできませんでしたが、ユダヤ人たちに、自分たちを守ることをゆるしてくれました。神の助けによって、エステルは自分の民を救うことができたのです！



「女王エステル」レベッカ・C, 8才 (ベネズエラ, アラグア)

エステルについてエステル 2 - 8章を読みましょう。



エステル

エステルは勇気があり、神を信じていました。

わたしも勇気を持って、

正しいことのために立ち上がることができます。

- エステル 4 : 14 の最後の部分を暗記しましょう。
- <https://www.lds.org/children/videos/scripture-stories/old-testament/45-esther?&lang=jpn> で、旧約聖書のビデオの第 45 章を見ましょう。
- お父さんやお母さんがきよかしてくれたら、心配な人のために断食しましょう
- わたしは、次のようなことをして勇気ある人になれます。

じょおう 女王エステル

キム・ウェブ・リード



エステルは女王でした。エステルはペルシャの王と結婚しました。

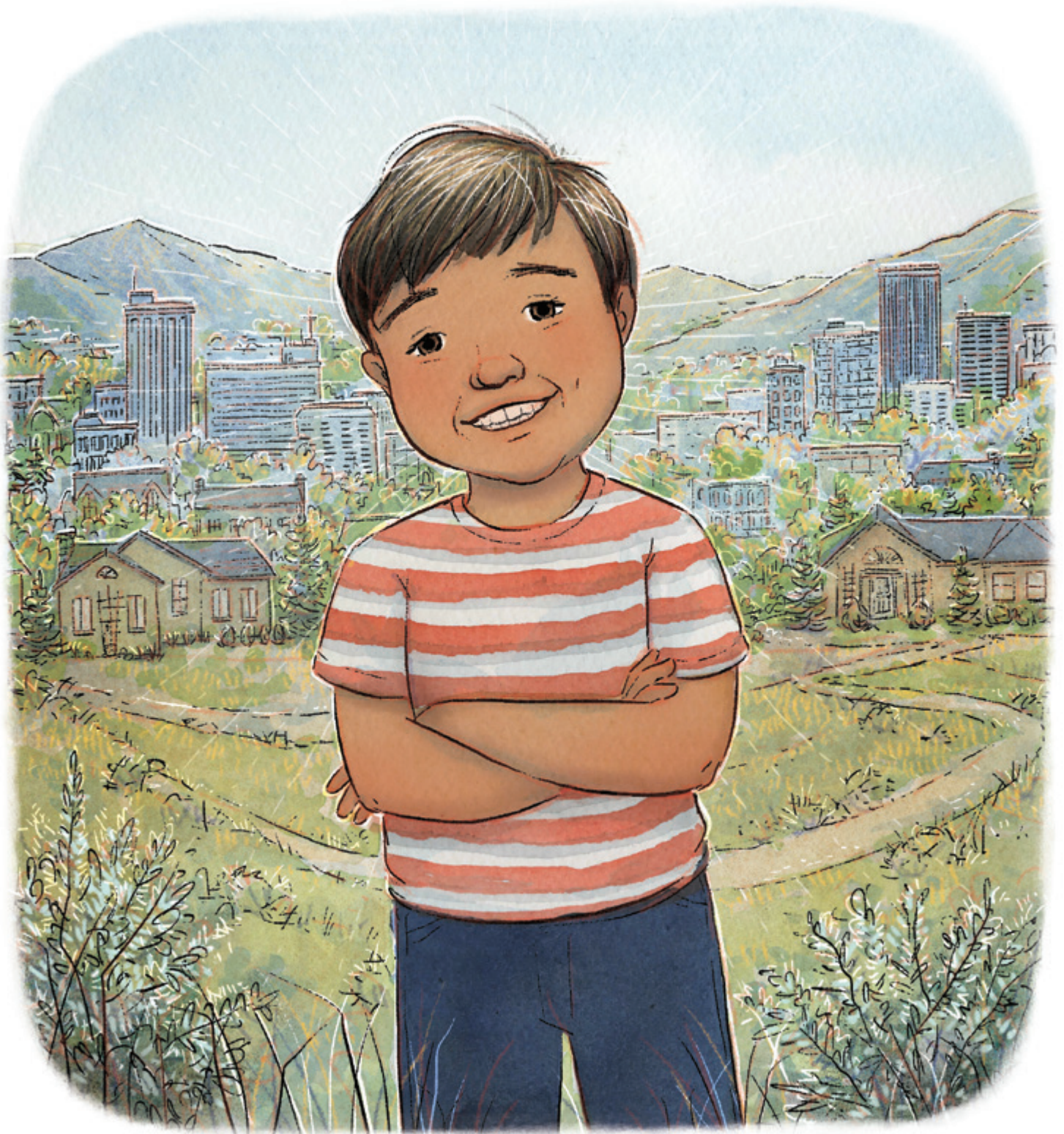


王には、悪い友達がありました。王をだまして、すべてのユダヤ人は殺されなければならないという法律を作らせました。王は、つまのエステルがユダヤ人だということを知りませんでした。

エステルは夫である王に、自分の民を救ってくれるようお願いすることにしました。でも、王はおこるのではないかと心配しました。エステルはすべてのユダヤ人に、自分のために断食していのってくれるようお願いしました。それから、エステルは王のもとに行きました。王はおこりませんでした!



エステルは王とその友達を夕食会にまねきました。夕食会の席で、エステルは王に自分がユダヤ人であることを伝えました。王は、友達にだまされたことを知っておこりました。王はユダヤ人に自分自身を守るように伝えました。エステルは自分の民を救ったのでした。



わたしたちは、天のお父様に助けを願い求めることができます。
エステルのように、勇気ある人になることができるのです。■

色をぬりましょう

わたしはほかの^{ひと}人が^{あい}愛されていると
^{かん}感じるように^{たす}助けることができます





大管長会第二顧問
ジェームズ・E・
ファウスト管長
(1920-2007年)

会員の 支持を 受けること

霊的な導きを受けられるかどうかは、
……預言者、聖見者、啓示者と一致して
いるかどうかによって大きく左右されます。

わたしは、今日の教会を導くため
に「召され、選ばれ[た]」(教
義と聖約 55 : 1) 神権指導者の聖な
る職について話したいと思います。
……

…… [十二使徒定員会の] わたしの
兄弟たちは、例外なく、善良で、尊敬
と信頼に値する人物です。わたしは彼
らの胸の内を知っています。彼らは主
の僕です。彼らの願いはその大いな
る召しを果たし、地上に神の王国を築
くことだけです。現在奉仕の業に携
わっている兄弟たちは、試しを受け、
苦難に耐えながら、誠実に歩んでいま
す。……彼らの心はとても純粹であ
り、経験は非常に豊富であり、頭脳は
すこぶる明晰であって、霊的な知恵は
深遠です。そばにいただけで安らぎ
を覚えます。

…… [わたしは召されたとき、こうい
う勧告を受けました。] わたしにとっ
て最も大切なことは、中央幹部の兄弟



たちと常に一致することである、とい
うことです。……わたしはそれを心か
ら実行したいと自分に言い聞かせま
した。

……わたしは、霊的な導きを受けら
れるかどうかは、大管長、大管長会、
そして十二使徒定員会と一致してい
るかどうかによって大きく左右され
ると理解しました。彼らは皆、……
預言者、聖見者、啓示者として支
持されているのです。大管長とそ
のほかの預言者、聖見者、啓示者
と一致せずに主の御霊と完全に一
致することがどうしてできるでし
ょうか。……

教会員の皆さんに勧めます。全身
全霊を尽くして大管長と大管長会、

十二使徒定員会、そしてほかの中央幹
部を支持してください。そうするな
ら、安全な避け所にとどまることが
できます。……

わたしたちは地元の指導者も、支
え、支持する必要があります。なぜ
なら、彼らも「召され、選ばれ」て
いるからです。この教会の会員は皆、
ビショップや支部会長、ステーク会
長、伝道部会長、大管長、大管長を
補佐する人たちから勧告を受けま
す。彼らは自分から召しを求めた
わけではありません。だれも完全
ではありません。けれども、靈感
を受ける資格のある人たちを通
して、主から召された主の僕です。
召され、支持され、任命された人
には会員の支持を受ける権利があ
るのです。■

2005年10月の総大会における説教から。



EDMUND BLAIR LEIGHTON (1852-1922). THE BLIND MAN AT THE POOL OF SILOAM, 1879. OIL ON CANVAS. 40 X 50 1/4 INCHES. BRIGHAM YOUNG UNIVERSITY MUSEUM OF ART. PURCHASED WITH FUNDS PROVIDED BY JACK R. WHEATLEY, 2014.

The Blind Man at the Pool of Siloam, (シロアムの池にいた盲人), Edmund Blair Leighton

彼は答えた、「イエスというかたが、どろをつくって、わたしの目に塗り、『シロアムに行って洗え』と言われました。それで、行って洗うと、見えるようになりました。もしあのかたが神からきた人でなかったら、何一つできなかつたはずですよ。」(ヨハネ 9 章 11, 33 節)。

ヤングアダルト

福音に沿って生きる
「理由」を考える

福音に従って生活する
動機は何ですか。

44

青少年

聖霊があなたを教えることが
できる方法

50, 56

自分が望む将来のために
今努力する

62

総大会

総大会から学ぶ
5つの方法

50, 54,
58



末日聖徒
イエス・キリスト
教会

JAPANESE

